

博士論文

(要約)

親密圏と公共圏の社会学

ケアの 20 世紀体制を超えて

落合恵美子

目 次

はしがき i

序 章 生とケアを包摂する社会理論——20世紀体制を超えて I

- 1 社会と社会科学から排除された生とケアを取り戻す I
「人が生きること」を軽視してきた社会科学(1) 研究史を振り返る(3) 「人が生きること」の外部化と不可視化(4) 「人が生きることを支える活動」としてのケア(6) 社会科学に生命／生活を内部化する(7)
- 2 3つの視点——歴史・人口・アジア 9
歴史的視点(10) 人口学的視点(11) アジア的視点(13)
- 3 生とケアの20世紀体制とその超えかた 14
社会的再生産の20世紀体制(14) ケアの家族化と脱家族化(15)
20世紀体制の超えかた——成熟社会への道(18)

第I部 親密圏と公共圏の変容

第1章 親密圏と公共圏の構造転換——ハーバーマスを超えて 22

- 1 ハーバーマス再読——親密圏と公共圏の歴史理論として読み直す 23
歴史理論書としての『公共性の構造転換』(23) 古代から中世へ——公私の分離とその消滅(24) 近代市民社会の成立と公／私(25) 小家族的親密圏・市場・主観性(27) 3つの公共圏と親密圏(29) 19世紀末の構造転換(32)
- 2 親密性／親密圏研究が開く視角 35
近代家族の誕生と親密圏の成立(35) 家事労働の社会的再生産からの排除(36) 20世紀末の構造転換(38)
- 3 親密圏と公共圏の構造転換 41
市民社会＝市場のミクロ方向とマクロ方向への拡大(41) 親密圏と3つの公共圏がつくる福祉ダイヤモンド(42) 「人間の生命／生活」を扱える社会科学の再興(44)

第2章 近代世界の転換と家族変動の論理

—人口とジェンダー

46

-
- 1 世界から見た近代家族論 46
 - 2 近代の転換と家族変動 47
 - 3 アジア近代の論理 49
 圧縮近代と半圧縮近代(49) 家族主義的個人化(53) 近代家族の伝
 続化(55) グローバル化する家族(59)
 - 4 ヨーロッパ近代のゆくえ 61
 世界システムと第2の近代(61) 家族の復権(64)

第3章 アジア近代におけるジェンダー構築の論理

67

-
- 1 伝統の多様性 68
 儒教的貞女は日本にいたか(68) 親族構造とジェンダーイデオロギー
 (69) 父系的アジアと双系的アジア(71)
 - 2 言説の類似性 73
 アジアのアイデンティティにされた西洋近代(73) 近代的ジェンダー
 役割の伝統化(74)
 - 3 近代化の多様な経路 76
 近代家族とジェンダーの変化(76) 圧縮された近代と半圧縮近代(78)
 社会主義近代からの移行(81) 現代アジアにおけるジェンダーの変化
 の複雑性(84)
 - 4 政策決定 88
 日本における家族主義的改革(88) 他のアジア社会における自由主義
 的家族主義(90)
 - 5 まとめ 91

第Ⅱ部 ケアレジームの再編成

第4章 アジアの家族主義を再考する

—ケアレジームの歴史と現在

96

-
- 1 「ケア」とは何か—近代西洋的常識を疑う 96
 - 2 ケアレジームとケアダイヤモンド 98
 - 3 歴史的に見たアジア社会のケアレジーム 99

4 現代アジア社会のケアレジーム 102

第5章 アジアの共働き社会における子育てを支えるもの
——中国・タイ・シンガポールの場合 107

-
- 1 アジアの共働き社会 107
 - 2 中国の場合 109
 - 3 タイの場合 113
 - 4 シンガポールの場合 116
 - 5 専業主婦志向と教育ママの誕生 118
 - 6 アジアの共働き社会のゆくえ 121

第6章 グローバル化する家族
——台湾の外国人家事労働者と外国人妻 124

-
- 1 グローバル化する家族 124
 - 2 台湾調査とその背景 127
 - 3 外国人家事・介護労働者の事例から 129
事例1(130) 事例1-補1(133) 事例1-補2(135)
 - 4 外国人妻の事例から 138
事例2, 3(139) 事例4(142)
 - 5 おわりに 146

第7章 現代アジアにおける主婦の誕生
——グローバル化と近代家族 149

-
- 1 アジアの共働き社会の主婦たち 149
 - 2 中国の主婦たち 150
事例1——Rさん(44歳, 無錫市在住)(152) 事例2——Lさん
(33歳, 無錫市周縁部の「農村」在住)(152) 事例3——Hさん
(36歳, 北京市在住)(154)
 - 3 シンガポールの主婦たち 157
事例1——Gさん(41歳)(158) 事例2——Nさん(40歳前後)
(159)
 - 4 タイの主婦たち 162
事例1——Tさん(45歳)(163) 事例2——Sさん(男性, 42

歳) : 妻について(163) 事例3 — Oさん(165)

- 5 グローバル化とアジアの近代家族 165
 社会的背景の多様性(165) 変化の共通性(167) グローバル化する
 人間再生産(168)

第8章 ケアダイヤモンドと福祉レジーム

— 東アジア・東南アジア6社会の比較研究

171

-
- 1 社会的ネットワークと福祉ミックス 171
- 2 アジア家族の比較研究 172
- 3 子どものケアをめぐる社会的ネットワーク 174
 親族(174) コミュニティ(175) 施設(176) 家事労働者(176)
 父親と母親(177) 地域による違い(178)
- 4 高齢者のケアをめぐる社会的ネットワーク 178
 子どもと子どもの配偶者(178) 親族(179) コミュニティ(180)
 施設(180) 家事・介護労働者(181)
- 5 ケアダイヤモンドと福祉レジーム 182
 ケアダイヤモンド(182) 福祉レジーム(184)
- 6 ケアネットワークの再編成 188

第9章 東アジアの持続不能社会

— 圧縮された近代の低出生率と家族主義

191

-
- 1 東アジアにおける超低・極低出生率 192
 東アジア内における多様性(192) 低出生率の歴史的発展(193)
 「圧縮された近代」と人口転換(195)
- 2 東アジアにおける婚姻の逆説 196
 離婚, 晩婚, 生涯独身(196) 同棲と婚姻外の出生(199) 国際結婚
 と高い出生性比(201) 東アジアの婚姻とリスク回避的な個人化(202)
- 3 家族主義の多様性とその失敗 205
 家族主義の原因(205) 日本における家族主義的改革(207) その他
 の東アジア社会における自由主義的家族主義(207)
- 4 結 論 208

第10章 持続可能な社会のための理論と政策

——ケアの家族化／脱家族化と国際人口移動 210

-
- 1 はじめに 210
 - 2 少子化を世界史的文脈で理解する——歴史的視野と国際比較の視点 211
第1次人口転換と第2次人口転換(211) 「20世紀体制」の成立と「ケアの家族化」(211) 「20世紀体制」の終焉と「ケアの脱家族化」(213)
 - 3 ケアダイヤモンドと家族化／脱家族化——人間再生産の理論化 215
人間再生産の理論化(215) ケアダイヤモンドと家族化／脱家族化(217) ケアサービスとケア費用の脱家族化(219)
 - 4 アジアのケアレジーム 221
アジアとヨーロッパの違いとアジアの多様性——圧縮近代と半圧縮近代(221) アジアのケアダイヤモンド(223) ケアレジーム, 女性就労, 出生率(224) 変容するアジアのケアレジーム(225)
 - 5 社会的再生産の構成要素としての国際人口移動と労働力のジェンダー化 227
人口増加の構成要素——自然増加と純移動の時期的変化(227) 生産年齢人口割合(228) 労働力率(232)
 - 6 結論にかえて 235

第11章 アジア化するヨーロッパ？

——フランス福祉国家の変容と子どものケア 238

-
- 1 「アジア化するヨーロッパ」仮説 239
 - 2 福祉国家は「削減」されたか——財政面からの検討 242
 - 3 フランスにおける「公的保育」の「市場化」とは——「公的保育」の変容とアシスタントマテルネル 246
フランスにおける公的保育(246) アシスタントマテルネルの増加(247) 公的責任による質保証(249) ケアサービスの政策的市場化(251)
 - 4 フランスの子どもをケアする多様なアクター 252
保育所(クレッシュ)の多様性(253) 個人契約の家庭的・在宅保育(260) 親族とその擬制(264) 課外活動(266)
 - 5 考察 268

第12章 世界の中の戦後日本家族

274

- 1 戦後日本家族論を拡張する 274
世界の中の現代日本(274) 体制としての戦後家族(275) 戦後日本
家族論の再構成(277)
- 2 人口転換とライフコースの変容 278
人口転換と人口ボーナス(278) 標準的ライフコースの成立(280)
第2次人口転換(282)
- 3 ジェンダー化の多様な方向性 284
ライフコースのジェンダー化(284) 日本における主婦化と脱主婦化
(286) クラスタ化する世界(288)
- 4 家族と親族の絆 290
核家族化は起きたか(290) 親族の絆と人口学的条件(292) 家族政
策の分岐点(294)
- 5 家族主義レジームの社会 296

第13章 歴代首相の国会発言に見る「家族」と「女性」

——日本の停滞のイデオロギー的背景

299

- 1 日本の独特の進路とその政策的背景 299
- 2 政治課題となった家族と女性 300
「家族」に関する首相の国会発言(300) 「女性」に関する首相の国会
発言(303)
- 3 1980年代の家族主義的改革 304
新自由主義的な日本型福祉社会(304) 中曽根康弘首相の国会発言
(305) 中曽根発言のイデオロギー的背景——近代の伝統化(308)
- 4 1990年代以降の不完全な改革 309
不況下の構造改革(309) 橋本龍太郎首相の国会発言(311) 小泉純
一郎・安倍晋三首相の国会発言(314)
- 5 政策選択におけるイデオロギーと現実
——1980年代と1990年代との比較 317
- 6 「近代の伝統化」とその拘束 320

第14章 縮んだ戦後体制——「つまずきの石」としての1980年代 322

- 1 はじめに——1990年代の日本は1970年代の欧米先進諸国 322
- 2 「20世紀体制」とその転換 324
「20世紀体制」の国家・経済・家族(324) 「20世紀体制」の転換と長
寿革命(326) 人間再生産を含めた「社会システム」(328)
- 3 転換期の選択——制度改革の岐路 329
欧米諸国における再生産の脱家族化(329) 日本における家族主義の
再制度化(332)
- 4 日本社会の現在——家族主義的改革の帰結 335
縮んだ戦後体制(335) 再生産の脱家族化は進んだか(339) 人間再
生産の持続可能性(342)
- 5 おわりに 347

第15章 新型コロナが露呈させたジェンダー問題とケアの危機 ——生を包摂する社会科学とは 349

- 1 在宅勤務緊急調査から見たこと 349
ステイホームのシャドウワーク(349) 在宅勤務になって困ったこと
(350) 在宅勤務になって良かったこと(352) 「新しい日常」の課
題(353)
- 2 ジェンダー問題としてのコロナ危機 354
さまざまな領域におけるジェンダー問題の発見(354) コロナ研究会
報告書等に見るジェンダー問題の諸相(355) 「親密性の病」が直撃し
たケアラーとしての女性(360)
- 3 公共サービスと公務労働 362
行政改革の公共サービスへの影響(362) 公務労働の非正規化とジェ
ンダー問題(366)
- 4 生を包摂する社会と社会科学——ケアの再家族化に抗して 369
ケアの家族化と不可視化(369) フェミニスト社会科学の展開とケア
の脱家族化(370) ケアの再家族化を止める(371)

参考文献	375
初出一覧	397
事項索引	399
人名索引	410

本 文

博士論文のほぼ全体がすでに下記の図書として出版されており、契約内容により、インターネット公表に対する許諾が得られていないため、要約の公表をもって全文公表に代える。

落合恵美子著『親密圏と公共圏の社会学 ケアの 20 世紀体制を超えて』有斐閣
(2023 年 3 月 25 日初版第一刷発行) (ISBN978-4-641-17485-6)

参考文献

- 阿部彩, 2010, 「時間調査を用いたケアの国際比較——UNRISDの報告書から」『海外社会保障研究』170: 62-70.
- 安倍晋三, 2013, 『新しい国へ——美しい国へ(完全版)』文春新書.
- Aida Milasari (アイダ・ミラサリ), 2005, “Penting namun terbaik: Portret pekerja rumah tangga (PRT) di Indonesia,” *Jurnal Perempuan* (Indonesian Feminist Journal) 39: 31-39, Jakarta: Yayasan Jurnal Perempuan. (辛島理人訳, 2022, 「大事なのに顧みられない人たち——インドネシアの家事労働者」平井晶子・落合恵美子・森本一彦編『リーディングス アジアの家族と親密圏2 結婚とケア』有斐閣.)
- 赤石千衣子, 2021, 「コロナ禍のシングルマザー」『月刊自治研』4月号: 48-54.
- 赤松啓介, 1994, 『夜這いの民俗学』明石書店.
- Anderson, Michael, 1983, “What is New about the Modern Family: An Historical Perspective,” Occasional Paper 31, London: Office of Population Censuses and Surveys.
- 安藤由美, 2001, 「成人期への移行出来事のタイミングと順序」加藤彰彦編『家族形成のダイナミクス』(家族生活についての全国調査NFR98報告書2-1) 日本家族社会学会・全国家族調査(NFR)研究会.
- 青山薫, 2007, 『セックスワーカーとは誰か——移住・性労働・人身取引の構造と経験』大月書店.
- Aoyama, Kaoru, 2009, *Thai Migrant Sexworkers: From Modernisation to Globalisation*, London: Palgrave/Macmillan.
- 青山なを, 1990, 『安井てつ伝——伝記・安井てつ』大空社.
- Arber, Sara and Virpi Timonen eds., 2012, *Contemporary Grandparenting: Changing Family Relationships in Global Contexts*, Bristol: Policy Press.
- Arellano-Carandang, Maria Lourdes (マリア・ロルデス・アレリヤノ＝カラندان), 1992, “The ‘Tagasalo’ or ‘Mananalo’ Syndrome,” *Filipino Children Under Stress: Family Dynamics and Therapy*, Quezon City: Ateneo de Manila University Press, 45-67. (山本理子訳, 2022, 『『タガサロ』または『マナナロ』症候群』平井晶子・落合恵美子・森本一彦編『リーディングス アジアの家族と親密圏2 結婚とケア』有斐閣.)
- Arendt, Hannah, 1958, *The Human Condition*, Chicago: University of Chicago Press.
- Ariès, Philippe, 1960, *L'enfant et la vie familiale sous l'ancien régime*, Paris: Plon. (杉山光信・杉山恵美子訳, 1980, 『〈子供〉の誕生——アンシャン・レジーム期の子供と家族生活』みすず書房.)
- 安里和晃, 2004, 「台湾における外国人家事・介護労働者の処遇について——制度の検討と運用上の問題点」『龍谷大学経済学論集』43(5): 1-28.
- 安里和晃, 2005, 「介護労働市場の形成における外国人家事・介護労働者の位置づけ——台湾における事例から」『龍谷大学経済学論集』44(5): 1-29.
- 安里和晃, 2009a, 「東アジアにおけるケアの『家族化政策』と外国人家事労働者」『福祉社会学研究』6: 10-25.
- 安里和晃, 2009b, 「外国からの人材受け入れの論点」安里和晃・前川典子編『始動する外国人材による看護・介護——受け入れ国と送り出し国の対話』笹川平和財団.
- 安里和晃, 2013, 「家族ケアの担い手として組み込まれる外国人家事労働者——香港・台湾・シンガポールを事例として」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会.

- 阿藤誠, 2000, 『現代人口学——少子高齢社会の基礎知識』 日本評論社.
- 栗屋利江, 1994, 「ケーララにおける母系制の解体と司法」 小谷汪之編『西欧近代との出会い』 明石書店.
- Badinter, Elisabeth, 1980, *L'amour en plus: histoire de l'amour maternel, XVIIe-XXe siècle*, Paris: Flammarion. (鈴木晶訳, 1998, 『母性という神話』 筑摩書房.)
- Bales, Robert F. and Talcott Parsons 1956, *Family: Socialization and Interaction Process*, London: Routledge and Kegan Paul.
- Beck, Ulrich and Elisabeth Beck-Gernsheim, 2002, *Individualization: Institutionalized Individualism and its Social and Political Consequences*, London: Sage.
- Bertaux, Daniel, 2011, "Anthroponomy: The Production by People of People Themselves," presented at Kyoto University on October 22.
- Bertaux, Daniel, 2014, "Le care comme partie émergée de la production de la vie", *Revue des Sciences Sociales*, n° 52: 118-28.
- Boris, Eileen and Rhacel Salazar Parreñas eds., 2010, *Intimate Labors: Cultures, Technologies, and the Politics of Care*, Stanford: Stanford University Press.
- Bott, Elizabeth, 1957, *Family and Social Network: Roles, Norms, and External Relationship in Ordinary Urban Families*, London: Tavistock.
- Buchanan, Patrick J., 2002, *The Death of the West: How Dying Populations and Immigrant Invasions Imperil Our Country and Civilization*, New York: St. Martins Press. (宮崎哲弥監訳, 2002, 『病むアメリカ、滅びゆく西洋』 成甲書房.)
- Budlender, Debbie ed., 2010, *Time Use Studies and Unpaid Care Work*, New York: Routledge/ UNRISD.
- Bui The Cuong (Bùi Thế Cường ブイ・デー・クオン), 2000, "Ba nguồn lực vật chất cơ bản của tuổi già đồng bằng sông Hồng," *Tạp chí Xã hội học (Sociological Review)*, 1 (2000): 27-35, Hanoi: Institute of Sociology 'Vietnam Academy of Social Sciences'. (2021, "Three Basic Material Resources for the Elderly in the Red River Delta," Ochiai Emiko and Patricia Uberoi eds., *Asian Families and Intimacies*, IV, Delhi: Sage.)
- Caisse nationale des Allocations familiales, 2015, *l'Observatoire national de la petite enfance rapport 2015: L'Accueil du Jeune Enfant en 2014*.
- Carbonnier, Clément and Nathalie Morel eds., 2015, *The Political Economy of Household Services in Europe*, London: Palgrave Macmillan.
- Census & Statistics Department, 2001, *Hong Kong Social & Economic Trends, 2001 Edition*, Hong Kong: HKSAR Government.
- Census & Statistics Department, 2002, *Demographic Trends in Hong Kong, 1981-2001*, Hong Kong: HKSAR Government.
- Census & Statistics Department, 2007a, *Hong Kong Monthly Digest of Statistics, November 2007*, Hong Kong: HKSAR Government.
- Census & Statistics Department, 2007b, *Demographic Trends in Hong Kong, 1981-2006*, Hong Kong: HKSAR Government.
- Census & Statistics Department, 2008, *A Graphic Guide on Hong Kong's Development, 1967-2007*, Hong Kong: HKSAR Government.
- Chang, Kyung-Sup, 1999, "Compressed Modernity and Its Discontents: South Korean Society in Transition," *Economy and Society*, 28(1): 30-55.
- Chang, Kyung-Sup, 2010, *South Korea under Compressed Modernity: Familial Political Economy in Transition*, London: Routledge.

- Chang Kyung-Sup (장경섭, 張慶燮, チャン・キョンスプ) 柴田悠記, 2013, 「個人主義なき個人化——『圧縮された近代』と東アジアの曖昧な家族危機」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会。
- Chang, Kyung-Sup, 2014, "Individualization without Individualism," Emiko Ochiai and Leo Aoi Hosoya eds., *Transformation of the Intimate and the Public in Asian Modernity*, Leiden: Brill.
- Charles, Nickie, Charlotte Aull Davies and Chris Harris, 2008, *Families in Transition: Social Change, Family Formation and Kin Relationships*, Bristol: Policy Press.
- 千本暁子, 1990, 「労働者家族の近代」荻野美穂ほか『制度としての〈女〉——性・産・家族の比較社会史』平凡社。
- Coontz, Stephanie, 1992, *The Way We Never Were: American Families and the Nostalgia Trap*, New York: Basic Books.
- Daly, Mary ed., 2001, *Care Work: The Quest for Security*, Geneva: International Labour Office.
- Das, Veena (ヴェーナ・ダス), 1993, "Masks and Faces: An Essay on Punjabi Kinship," Patricia Uberoi ed., *Family, Kinship and Marriage in India*, Delhi and Oxford: Oxford University Press. (入江恵子・山本耕平・押川文子訳, 2022, 「仮面と素顔——パンジャブの親族関係についての考察」落合恵美子・森本一彦・平井晶子編『リーディングス アジアの家族と親密圏 3 セクシュアリティとジェンダー』有斐閣。)
- Delphy, Christine, 1984, *Close to Home: A Materialist Analysis of Women's Oppression*, The University of Massachusetts Press.
- Deuchler, Martina, 1992, *The Confucian Transformation of Korea: A Study of Society and Ideology*, Cambridge, MA: Harvard University Asia Center, Harvard University. (佐藤綾子・仲尾友貴恵訳, 2021, 「儒教の法制化と女性への影響」〔第6章〕, 「リネージ社会の出現」〔終章〕『比較家族史研究』36: 9-54.)
- Diamond, Norma, 1973, "The Status of Women in Taiwan," Marilyn B. Young ed., *Women in China: Studies in Social Change and Feminism*, UMI Research Press.
- Dupcsik, Csaba and Olga Tóth, 2008, "Feminizmus helyett familizmus' (Familism Instead of Feminism)," *Demográfia*, 5(4): 307-28.
- 江原由美子, 1988, 『フェミニズムと権力作用』勁草書房。
- Ehrenreich, B. and A. R. Hochschild eds., 2003, *Global Woman: Nannies, Maids, and Sex Workers in the New Economy*, New York: Henry Holt and Company.
- Embree, John, 1950, "Thailand: A Loosely Structured Social System," *American Anthropologist*, 52(2): 181-93.
- Engels, Friedrich, 1884, *Der Ursprung der Familie, des Privateigentums und des Staats*. (戸原四郎訳, 1965, 『家族・私有財産・国家の起源——ルイス・H・モーガンの研究に関連して』岩波書店。)
- Esping-Andersen, Gøsta, 1990, *The Three Worlds of Welfare Capitalism*, Cambridge: Polity Press. (岡沢憲美・宮本太郎監訳, 2001, 『福祉資本主義の三つの世界——比較福祉国家の理論と動態』ミネルヴァ書房。)
- Esping-Andersen, Gøsta ed., 1996, *Welfare States in Transition: National Adaptations in Global Economies*, London: Sage. (埋橋孝文監訳, 2003, 『転換期の福祉国家——グローバル経済下の適応戦略』早稲田大学出版部。)
- Esping-Andersen, Gøsta, 1999, *Social Foundations of Postindustrial Economies*, Oxford: Oxford University Press. (渡辺雅男・渡辺景子訳, 2000, 『ポスト工業経済の社会的基礎——市場・福祉国家・家族の政治経済学』櫻井書店。)
- Esping-Andersen, Gøsta, 2001, *A Welfare State of the 21st Century*. (渡辺雅男・渡辺景子訳, 2001,

- 『福祉国家の可能性——改革の戦略と理論的基礎』桜井書店.)
- Esping-Andersen, Gøsta, 2002, "A New European Social Model for the Twenty-first Century?" Maria João Rodrigues ed., *The New Knowledge Economy in Europe: A Strategy for International Competitiveness and Social Cohesion*, Cheltenham: Edgar Elgar.
- Esping-Andersen, Gøsta, 2009, *The Incomplete Revolution: Adapting to Women's New Roles*, Cambridge: Polity Press. (大沢真理監訳, 2011, 『平等と効率の福祉革命——新しい女性の役割』岩波書店.)
- Eun Ki-Soo (은기수, 殷棋洙, ウンギス), 2004, 「가계계승의 다양성과 '종족전략」 문옥표 (文玉杓) 編『조선양반의 생활세계 (朝鮮兩班階層の生活世界)』서울: 백산서당. (本間千景訳, 2009, 『朝鮮後期の多様な家の継承方式——義城金氏を事例に』落合恵美子・小島宏・八木透編『歴史人口学と比較家族史』早稲田大学出版部.)
- Evers, Adalbert, Marja Pijl and Clare Ungerson eds., 1994, *Payments for Care*, Aldershot: Avebury.
- Fauve-Chamoux, Antoinette ed., 2005, *Domestic Service and the Formation of European Identity: Understanding the Globalization of Domestic Work, 16th-21st Centuries*, Bern: Peter Lang.
- Fauve-Chamoux, Antoinette and Emiko Ochiai eds., 2009, *The Stem Family in Eurasian Perspective: Revisiting House Societies, 17th 20th Centuries*, Bern: Peter Lang.
- 費孝通 (Fei Xiaotong), 1947→1981, 『生育制度』初版: 商務印書館, 再版: 天津人民出版社・社会学叢書. (横山廣子訳, 1985, 『生育制度——中国の家族と社会』東京大学出版会.)
- Folbre, Nancy, 2001, "Accounting for Care in the United States," Mary Daly ed., *Care Work: The Quest for Security*, Geneva: International Labour Office.
- Frank, Andre Gunder, 1978, *Dependent Accumulation and Underdevelopment*, London: Macmillan.
- Fraser, Nancy, 1992, "Rethinking the Public Sphere," C. Calhoun ed., *Habermas and the Public Sphere*, Cambridge, MA: MIT Press. (菊地夏野訳, 2003, 「公共圏の再考」仲正昌樹監訳『中断された正義——「ポスト社会主義的」条件をめぐる批判的省察』御茶の水書房.)
- Friedan, Betty, 1963, *The Feminine Mystique*, 3rd ed., London: Penguin Books. (三浦富美子訳, [1965] 1986, 『新しい女性の創造 (増補版)』大和書房.)
- 藤井省三, 2010, 「現代シンガポール家族像における非婚とセックスレス——陳華彪小説集『スーパー・チェーン・ボーイの物語』と梁智強監督映画『私のお役所時代』をめぐって」『中国語中国文化』7: 184-93.
- 藤井和佐, 2007, 「女性の社会参加と地域社会」落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房.
- 藤崎宏子, 2009, 「介護保険制度と介護の『社会化』『再家族化』」『福祉社会学研究』6: 41-57.
- 夫馬進, 1997, 『中国善会善堂史研究』同朋舎出版.
- Galbraith, John Kenneth, 1958→1998, *The Affluent Society, Fortieth Anniversary Edition*, Mariner Books. (鈴木哲太郎訳, 2006, 『ゆたかな社会 決定版』岩波現代文庫.)
- Gardiner, Jean, 2000, "Domestic Labour Revisited," Susan Himmelweit ed., *Inside the Household: From Labour to Care*, Basingstoke: Macmillan.
- Giddens, Anthony, 1991, *Modernity and Self-Identity: Self and Society in the Late Modern Age*, London: Polity Press. (秋吉美都・安藤太郎・筒井淳也訳, 2005, 『モダニティと自己アイデンティティ——後期近代における自己と社会』ハーベスト社.)
- Giddens, Anthony, 1992, *The Transformation of Intimacy: Sexuality, Love, and Eroticism in Modern Societies*, London: Polity Press. (松尾精文・松川昭子訳, 1995, 『親密性の変容——近代社会におけるセクシュアリティ, 愛情, エロティシズム』而立書房.)

- Gilligan, Carol, 1982, *A Different Voice: Psychological Theory and Women's Development*, Cambridge, MA: Harvard University Press.
- Goodman, Roger and Ito Peng, 1996, "The East Asian Welfare State," Esping-Andersen ed., *Welfare States in Transition*, London: Sage. (埋橋孝文監訳, 2003, 『転換期の福祉国家』早稲田大学出版部.)
- Goody, Jack, 1983, *The Development of the Family and Marriage in Europe*, Cambridge: Cambridge University Press.
- 官文娜 (Guan Wenna), 2005, 『日中親族構造の比較研究』思文閣出版.
- 官文娜 (Guan Wenna), 2017, 『日本家族結構研究』社会科学文献出版社.
- Habermas, Jürgen, 1962, *Strukturwandel der Öffentlichkeit: Untersuchungen zu einer Kategorie der bürgerlichen Gesellschaft*, Neuwied: H. Luchterhand. (細谷貞雄訳, 1973, 『公共性の構造転換』未来社.) (Trans. by Thomas Burger, 1989, *The Structural Transformation of the Public Sphere*, Cambridge: Polity Press.)
- Habermas, Jürgen, 1990, *Strukturwandel der Öffentlichkeit: Untersuchungen zu einer Kategorie der bürgerlichen Gesellschaft*, Frankfurt am Main: Suhrkamp. (細谷貞雄・山田正行訳, 1994, 『公共性の構造転換 (第2版) ——市民社会の一カテゴリーについての探究』未来社.)
- Hagestad, Gunhild, 2010, "Transformations in the Role of Grandparents across Welfare States," Paper presented at the XVII World Congress of Sociology, Göteborg.
- Hajnal, John, 1965, "European Marriage Pattern in Perspective," D. V. Glass et al. eds., *Population in History: Essays in Historical Demography*, Edward Arnold. (木下太志訳, 2003, 「ヨーロッパ型結婚形態の起源」速水融編『歴史人口学と家族史』藤原書店.)
- 韓嘉玲 (Han Jialing), 2003, 「婚姻移民与婦女労働の跨境遷移」張曉他編『社会性別・民族・社区発展研究文集』貴州人民出版社.
- 郝洪芳 (Hao Hongfang), 2021, 『東アジアの紹介型国際結婚——グローバルな家族と越境する親密性』明石書店.
- 郝洪芳 (Hao Hongfang), 2023, 「『タイガー』マザーと『不合格』母——アメリカ中華系および中国の親子関係の比較」平井晶子・中島満大・中里英樹・森本一彦・落合恵美子編『〈わたし〉から始まる社会学——家族とジェンダーから歴史, そして世界へ』有斐閣.
- 原田尚, 1978, 「家族形態の変動と老人同居扶養」『社会学評論』29(1): 50-66.
- Hareven, Tamara, 2000, *Families, History and Social Change: Life-course and Cross-cultural Perspectives*, Boulder: Westview Press.
- Härkönen, J. and J. Dronkers, 2006, "Stability and Change in the Educational Gradient of Divorce," *European Sociological Review*, 22(5): 501-17.
- 橋本泰子, 2002, 「タイ都市中間層における家族——バンコク都郊外を事例に」『四国学院論集』109: 19-47.
- 橋本泰子, 2003, 「共働き社会における女性の『専業主婦化』をめぐって——タイ都市中間層を事例に」『四国学院論集』111・112: 53-78.
- Hashimoto, Hiroko, 2003, "Thai Family System and Women's Property Rights under the Traditional Law," Emiko Ochiai ed., *The Logic of Female Succession: Rethinking Patriarchy and Patrilineality in a Global and Historical Perspective*, Kyoto: International Research Center for Japanese Studies.
- 橋本泰子, 2004, 「タイ都市中間層における家族文化の持続と変容」宮坂靖子編『アジア諸社会におけるジェンダーの比較研究——日本・韓国・中国・タイ・シンガポールを対象に』平成13年度~15年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(1))研究成果報告書.
- 橋本(関)泰子, 2005a, 「近代国家形成期タイにおける男女規範・家族規範の変容と持続——ラーマ

- 六世期・最高裁判例をもとに」北原淳編『東アジアの家族・地域・エスニシティ——基層と動態』東信堂。
- 橋本(関)泰子, 2005b, 「東南アジアの『共働き社会』に学ぶ——タイ都市中間層家族における育児と仕事の両立」『四国学院論集』116: 139-67.
- Hashimoto, (Seki) Hiroko, 2008, "Housewifization and Changes in Women's Life Course in Bangkok," Emiko Ochiai and Barbara Molony eds., *Asia's New Mothers: Crafting Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies*, Folkestone: Global Oriental.
- 橋本泰子, クア・ウオンブンシン, 2007, 「バンコクにおける女性のライフコースの変化と主婦化をめぐる」落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房。
- 服部良子, 2015, 「労働レジームと家族的責任」『家族社会学研究』27(1): 36-48.
- 速水融編, 2002, 『近代移行期の家族と歴史』ミネルヴァ書房。
- 速水融・鬼頭宏・友部謙一編, 2001, 『歴史人口学のフロンティア』東洋経済新報社。
- 速水融・小嶋美代子, 2004, 『大正デモグラフィ——歴史人口学で見た狭間の時代』文春新書。
- 速水洋子編, 2019, 『東南アジアにおけるケアの潜在力——生つながりの実践』京都大学学術出版会。
- Hayek, Friedrich A. Law, 1973, *Law, Legislation and Liberty, Vol. 1 Rules and Order*, The University of Chicago Press. (矢島鈞次・水吉俊彦訳, 1987, 『ハイエク全集第I期第8巻 法と立法と自由I ルールと秩序』春秋社。)
- Hegel, Georg Wilhelm Friedrich, 1821, *Grundlinien der Philosophie des Rechts*, Berlin: In der Nicolaischen Buchhandlung. (上妻精・佐藤康邦・山田忠彰訳, 2021, 『法の哲学——自然法と国家学要綱』岩波書店。)
- Herlofson, Katharina and Gunhild O. Hagestad, 2012, "Transformation of the Role of Grandparents across Welfare States," Sara Arber and Virpi Timonen eds., *Contemporary Grandparenting: Changing Family Relationship in Global Context*, Bristol: Policy Press.
- Heyzer, N., G. Lycklama a Nijeholt and N. Weerakoon, 1994, *The Trade in Domestic Workers: Causes, Mechanisms and Consequences of International Migration*, Kuala Lumpur: Asian and Pacific Development Center.
- Himmelweit, Susan, 2000, "Introduction: From Labour to Care," Susan Himmelweit ed., *Inside the Household: From Labour to Care*, Basingstoke: Macmillan.
- Himmelweit, Susan and Simon Mohun, 1977, "Domestic Labor and Capital," *Cambridge Journal of Economics*, 1977-1.
- 平井晶子, 2003, 「近世東北農村における『家』の確立」『ソシオロジ』47(3): 3-18.
- 平井晶子, 2008, 『日本の家族とライフコース——「家」生成の歴史社会学』ミネルヴァ書房。
- 平井晶子・落合恵美子・森本一彦編, 2022, 『リーディングス アジアの家族と親密圏2 結婚とケア』有斐閣。
- 平岡公一, 2000, 「社会サービスの多元化と市場化」大山博・武川正吾・平岡公一・炭谷茂編『福祉国家への視座——揺らぎから再構築へ』ミネルヴァ書房。
- 廣嶋清志, 1984, 「戦後日本における親と子の同居率の人口学的実証分析」『人口問題研究』169: 31-42.
- 久本憲夫, 2003, 『正社員ルネサンス——多様な雇用から多様な正社員へ』中公新書。
- Hobsbawm, Eric, 1994, *The Age of Extremes: The Short Twentieth Century, 1914-1991*, London: Abacus.
- Hobson, Barbara, 1990, "No Exit, No Voice: A Comparative Analysis of Women's Economic Dependency and the Welfare State," *Acta Sociologica*, 33(3): 235-50.
- Hoem, Jan M., 1997, "Educational Gradients in Divorce Risks in Sweden in Recent Decades," *Pop-*

- ulation Studies, 51(1): 19-27.
- Holliday, Ian and Paul Wilding eds., 2003, *Welfare Capitalism in East Asia: Social Policy in the Tiger Economies*, London: Palgrave Macmillan.
- 堀江孝司, 2005, 『現代政治と女性政策』勁草書房.
- 池岡義孝, 2010, 「戦後家族社会学の展開とその現代的位相」『家族社会学研究』22(2): 141-53.
- IMF (International Monetary Fund), 2004, *World Economic Outlook Database 2004*.
- 稲葉昭英, 2011, 「NFRJ98/03/08 から見た日本の家族の現状と変化」『家族社会学研究』23(1): 43-52.
- 石川義孝, 2005, 「日本の国際移動の転換点」石川義孝編『アジア太平洋地域の人口移動』明石書店.
- 伊藤比呂美, 1985, 『良いおっばい悪いおっばい』冬樹社.
- 伊藤正一, 2010, 「台湾における家族変動の現状と政策」鈴木透編『東アジアの家族人口学的変動と家族政策に関する国際比較研究』(厚生労働科研報告書).
- 伊藤達也, 1994, 『生活の中の人口学』古今書院.
- 岩井八郎, 2002, 「ライフコース論からのアプローチ」石原邦雄編『家族と職業——競合と調整』ミネルヴァ書房.
- 岩井八郎, 2013, 「戦後日本型ライフコースの変容と家族主義」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会.
- 岩井紀子・保田時男編, 2009, 『データで見る東アジアの家族観——東アジア社会調査による日韓中台の比較』ナカニシヤ出版.
- Jamieson, Lynn, 1998, *Intimacy: Personal Relationships in Modern Societies*, Cambridge: Polity Press.
- Jampaklay, Aree (อารี จำปา กลาย, アーリー・チャムパークライ), 2009, “เมื่อต้องเติบโตใหญ่ห่างไกลพ่อแม่: ลูกของพ่อแม่ที่ย้ายถิ่น ในมุมมองของปู่ย่าตายาย (Muea tong toep yai hang klai por mae: luk khong por mae thi yai thin nai mum mong khong pu ya ta yai) ใน “ครอบครัวไทย” ในสถานการณ์การเปลี่ยนผ่านทางสังคมและประชากร ประชากรและสังคม 2552. ชาย โฟธิสิตาและ สุชาดาทวิสิทธิ์. บรรณาธิการ, สถาบันวิจัยประชากรและสังคม มหาวิทยาลัยมหิดล (นครปฐม: สำนักพิมพ์ประชากรและสังคม, 2552): 194-205. (仲尾友貴恵訳, 2022, 「両親から離れて育つ——祖父母からみた移住労働者の子どもたち」平井晶子・落合恵美子・森本一彦編『リーディングス アジアの家族と親密圏 2 結婚とケア』有斐閣.)
- Jenson, Jane and Dennis Saint-Martin, 2003, “New Routes to Social Cohesion?: Citizenship and the Social Investment State,” *Canadian Journal of Sociology*, 2(1): 77-99.
- 自治労・衛生医療評議会, 2020, 「医療従事者の新型コロナウイルス感染症に関するアンケート結果概要」(記者発表資料).
- 陳延媛 (Jin Jung-Won), 2006, 『東アジアの良妻賢母論——創られた伝統』勁草書房.
- 自由民主党, 1979, 『日本型福祉社会 (自由民主党研究叢書 8)』自由民主党広報委員会出版局.
- Jones, Catherine ed., 1993, *New Perspectives on the Welfare State in Europe*, London and New York: Routledge.
- Jones, Gavin, Paulin Straughan and Angelique Chan eds., 2008, *Ultra-low Fertility in Pacific Asia: Trends, Causes and Policy Issues*, London: Routledge.
- 城下賢一, 2011, 『戦後首相の家族認識の抽出——福祉生産をめぐる国家と家族の協力・対抗関係の時期区分のために』京都大学グローバル COE プログラム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」ワーキングペーパー, 45.
- 海部俊樹, 2010, 『政治とカネ——海部俊樹回顧録』新潮社.
- 上林陽治, 2021a, 『非正規公務員のリアル——欺瞞の会計年度任用職員制度』日本評論社.

- 上林陽治, 2021b, 「女性非正規に依存する公共サービス」緊急オンライン集会「官製ワーキングプアの女性たち」3月20日.
- Kang, Myeong-Kwan (강명관, 姜明官, カン・ミョングァン), 2009, 열녀의탄생: 가부장제와조선여성의잔혹한역사, 돌베개. ([部分訳] 佐藤綾子・小林和美訳, 2022, 「烈女の誕生」森本一彦・平井晶子・落合恵美子編『リーディングス アジアの家族と親密圏1 家族イデオロギー』有斐閣.)
- 加藤彰彦, 2003, 『家族変動の社会学的研究——現代日本家族の持続と変容』(博士論文)早稲田大学大学院文学研究科.
- 川島武宜, 1948, 『日本社会の家族的構成』学生書房.
- 警察庁, 2014, 『自殺対策白書(平成26年版)』.
- 経済企画庁, 1997, 『国民生活白書(平成9年版)』.
- Khuat, Thu Hong, Bui Thu Huong and Le Bach Duong (クアット・チュ・ホン, ブイ・チュ・フォン, リ・バック・ズン), 2013, "To be Good at Public and Domestic Work, I Need Three Heads and Six Hands: The Dilemma of Vietnamese 'Modern' Women," Emiko Ochiai and Kaoru Aoyama eds., *Asian Women and Intimate Work*, Leiden: Brill. (戸梶民夫訳, 2012, 「公的労働と家事労働をうまくこなすには, 3つの頭と6本の手が必要である——ベトナム『現代』女性のジレンマ」落合恵美子・赤枝香奈子編『アジア女性と親密性の労働』京都大学学術出版会.)
- Kim, Doo-Sub, 2006, "The Rise of International Marriage and Divorce in Contemporary Korea," presented to the International Conference on Intermediated Cross-border Marriages in Asia and Europe, September 18-20, Academia Sinica, Taipei.
- Kim, Hye-Kyung (김혜경, 金惠慶, キム・ヘギョン) and Namgoong Myoung-Hee (남궁명희, 南宮明姬, ナムグン・ミョンヒ), 2009, 「아들가족에서의 노부(모) 돌봄 연구: 부부와 노인의 생애사를 중심으로」『한국사회학(韓国社会学)』43(4): 180-220. (大前悠・小林和美訳, 2022, 「息子家族による老親ケア——息子, 妻, 親の語りより」平井晶子・落合恵美子・森本一彦編『リーディングス アジアの家族と親密圏2 結婚とケア』有斐閣.)
- Kim, Jeonghee (김정희, 金正熙, キム・ジョンヒ), 2000, 「핵가족 어머니 육아와 품앗이공동육아: 중간계층 어머니와 아이의 체험을 중심으로」『한국여성학(韓国女性学)』16(1): 95-129. (福田順・小林和美訳, 2022, 「韓国における核家族の母親の育児とプマシ育児——中間階層の母子の経験を中心に」平井晶子・落合恵美子・森本一彦編『リーディングス アジアの家族と親密圏2 結婚とケア』有斐閣.)
- 木本喜美子, 2004, 「現代日本の女性」後藤道夫編『日本の時代史28 岐路に立つ日本』吉川弘文館.
- King Rama VI (พระบาทสมเด็จพระมงกุฎเกล้าเจ้าอยู่หัว, phrabat somdet phra mongkut klao cao yu hua, ラーマ6世), 1947, เปรียบนามสกุลกับชื่อแซ่ (Priap namsakun kap chue sae). (北島義和・落合恵美子訳, 2022, 「家名(ナムサクン)と姓(セー)の比較」森本一彦・平井晶子・落合恵美子編『リーディングス アジアの家族と親密圏1 家族イデオロギー』有斐閣, 86-92.)
- 木脇奈智子, 2004, 「シンガポールの子育てと子育て支援」宮坂靖子編『アジア諸社会におけるジェンダーの比較研究——日本・韓国・中国・タイ・シンガポールを対象に』平成13年度~15年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(1))研究成果報告書.
- 木脇奈智子, 2007, 「シンガポールの子育てと子育て支援」落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房.
- 小林和美, 2017, 『早期留学の社会学——国境を越える韓国の子どもたち』昭和堂.
- 小林和美・洪上旭, 2007, 「韓国の高齢者」落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房.

- 小浜正子・落合恵美子編, 2022, 『東アジアは「儒教社会」か? ——アジア家族の変容』京都大学学術出版会.
- 小浜正子・下倉渉・佐々木愛・高嶋航・江上幸子編, 2018, 『中国ジェンダー史研究入門』京都大学学術出版会.
- Kohler, Hans-Peter, Francesco C. Billari and José Antonio Ortega, 2002, "The Emergence of Low-fertility in Europe during the 1990s," *Population and Development Review*, 28(4): 641-80.
- 小池誠・施利平編, 2021, 『家族のなかの世代間関係——子育て・教育・介護・相続』日本経済評論社.
- 小島宏, 2010a, 「東アジアにおける同棲とその関連要因——学歴との関連を中心に」『人口問題研究』66(1): 17-48.
- 小島宏, 2010b, 「アジア, 欧米諸国における同棲とその関連要因」鈴木透編『東アジアの家族人口学的変動と家族政策に関する国際比較研究』(厚生労働科研報告書).
- 小島毅, 2018, 『天皇と儒教思想——伝統はいかに創られたのか?』光文社.
- 国立社会保障・人口問題研究所, 2000, 『人口の動向』.
- 国立社会保障・人口問題研究所, 2001/2002, 『人口統計資料集』.
- 国立社会保障・人口問題研究所, 2006, 「第13回出生動向基本調査」.
- 国立社会保障・人口問題研究所, 2010, 『人口統計資料集(2010年版)』.
- 国立社会保障・人口問題研究所, 2014, 『人口統計資料集(2014年版)』.
- 国立社会保障・人口問題研究所, 2017, 『人口統計資料集2017年改訂版』.
- 国立社会保障・人口問題研究所, 2022a, 「第16回出生動向基本調査」.
- 国立社会保障・人口問題研究所, 2022b, 『人口統計資料集(2022年版)』.
- Korea Population, Health and Welfare Association 2022, Survey on Young Adults' Perception on Dating, Marriage and Sex.
- 厚生労働省, 2005, 「人口動態統計特殊報告——出生に関する統計」.
- 厚生労働省, 2010, 「人口動態統計特殊報告——出生に関する統計」.
- 厚生労働省, 2013, 『労働経済の分析 平成25年度版』厚生労働省.
- 厚生労働省, 2014, 「人口動態統計(確定数)の概況(平成25年)」『人口動態調査』.(<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei13/index.html> 2015年5月13日アクセス.)
- 厚生省, 1998, 『厚生白書(平成10年版)』.(http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/kousei/1998/ 2015年6月8日アクセス.)
- 小山静子, 1991, 『良妻賢母という規範』勁草書房.
- 小山静子, 2022, 『良妻賢母という規範(新装改訂版)』勁草書房.
- 黒田公美編, 2022, 『子ども虐待を防ぐ養育者支援——脳科学, 臨床から社会制度まで』岩崎学術出版社.
- Kurosu, Satomi, 1998, "Long Way to Headship, Short Way to Retirement: Adopted Sons in a Northeastern Village in Pre-Industrial Japan," *The History of the Family*, 3(4): 393-410.
- 黒須里美編, 2012, 『歴史人口学からみた結婚・離婚・再婚』麗澤大学出版会.
- Kurosu, Satomi and Emiko Ochiai, 1995, "Adoption as an Heirship Strategy under Demographic Constraints: A Case from Nineteenth-century Japan," *Journal of Family History*, 20(3): 261-88.
- Kurosu, Satomi, Noriko Tsuya and Kiyoshi Hamano, 1999, "Regional Differentials in the Patterns of First Marriage in the Latter Half of Tokugawa Japan," *Keio Economics Studies*, 36(1): 13-38.
- 黒須里美・津谷典子・浜野潔, 2012, 「徳川期後半における初婚パターンの地域差」黒須里美編『歴史人口学からみた結婚・離婚・再婚』麗澤大学出版会.

- Lan, Pei-Chia, 2002, "Subcontracting Filial Piety: Elderly Care in Ethnic Chinese Immigrant Households in California," *Journal of Family Issues*, 23: 812-35.
- Lan, Pei-Chia, 2006, *Global Cinderellas: Migrant Domestic and Newly Rich Employers in Taiwan*, Durham and London: Duke University Press.
- Lan, Pei-Chia (藍佩嘉, ラン・ペイチャ), 2010, "Cultures of Carework, Carework across Cultures," John Hall Laura Grindstaff and Ming-cheng Miriam eds., *Handbook of Cultural Sociology*, London and New York: Routledge. (山本理子訳, 2012, 「ケアワークの文化, 文化をこえるケアワーク」落合恵美子・赤枝香奈子編『アジア女性と親密性の労働』勁草書房.)
- Lee, Jaerim, 2017, "Contemporary Korean Families," Special Lecture at Seoul National University on August 25.
- Leitner, Sigrid, 2003, "Varieties of Familialism: The Caring Function of the Family in Comparative Perspective," *European Societies*, 5(4): 353-75.
- レンツ, イルゼ (山本耕平・左海陽子訳), 2015, 「フェミニズムとジェンダー政策の日独比較」落合恵美子・橋本俊詔編『変革の鍵としてのジェンダー——歴史・政策・運動』ミネルヴァ書房.
- Lesthaeghe, Ron, 1991, "The Second Demographic Transition in Western Countries: An Interpretation," IPD Working Paper, Interuniversity Programme in Demography.
- Lesthaeghe, Ron, 2011, "The 'Second Demographic Transition': A Conceptual Map for the Understanding of Late Modern Demographic Developments in Fertility and Family Formation," *Historical Social Research*, 36: 179-218.
- Lévi-Strauss, Claude, 1983, *The Way of Masks*, London: Jonathan Cape.
- Lewis, Jane, 2001a, "The Decline of the Male Breadwinner Model: The Implications for Work and Care," *Social Politics*, 8(2): 152-70.
- Lewis, Jane, 2001b, "Legitimizing Care Work and the Issue of Gender Equality," D. Mary ed., *Care Work: The Quest for Security*, Geneva: International Labor Office.
- Lewis, Jane, Mary Campbell and Carmen Huerta, 2008, "Patterns of Paid and Unpaid Work in Western Europe: Gender, Commodification, Preferences and the Implications for Policy," *Journal of European Social Policy*, 18(1): 21-37.
- Liaw, Kao-Lee, Emiko Ochiai and Yoshitaka Ishikawa, 2010, "Feminization of Immigration in Japan: Marital and Job Opportunities," Wen-Shan Yang and Melody Chia-Wen Lu eds., *Asian Cross-border Marriage Migration: Demographic Patterns and Social Issues*, Amsterdam: Amsterdam University Press.
- Lu, Melody Chia-wen, 2006, "Human Trafficking, Commercialized Marriage or Marriage of Convenience? Intermediated Cross-border Marriages in Taiwan," presented to the International Conference on Intermediated Cross-border Marriages in Asia and Europe, September 18-20, Academia Sinica, Taipei.
- Luan Chengxian (梁成显, 梁成顯, ルアン・チョンシエン), 2005, 「明清徽州宗族的异姓承继」『历史研究』第3期: 85-96. (翁和美・王天馳・陳玲・平井晶子訳, 2022, 「明清期における異姓継承——徽州の事例から」森本一彦・平井晶子・落合恵美子編『リーディングス アジアの家族と親密圏1 家族イデオロギー』有斐閣.)
- 前田卓, 1976, 『姉家督——男女の別を問わぬ初生子相続』関西大学出版・広報部.
- 前田信彦, 2000, 『仕事と家庭生活の調和——日本・オランダ・アメリカの国際比較』日本労働研究機構.
- 毎日新聞, 2011, 「セックス無関心が倍増」1月12日付.
- 牧野カツコ, 1982, 「乳幼児をもつ母親の生活と〈育児不安〉」『家庭教育研究所紀要』3: 34-56.
- Marx, Karl, 1844, *Ökonomisch-philosophische Manuskripte*. (城塚登・田中吉六訳, 1964, 『経済

- 学・哲学草稿』岩波書店.)
- 真下道子, 1990, 「出産・育児における近世」女性史総合研究会編『日本女性生活史3 近世』東京大学出版会.
- Meillassoux, Claude, 1975, *Femmes, greniers et capitaux*, Paris: Francis Maspero. (川田順造・原口武彦訳, 1977, 『家族制共同体の理論——経済人類学の課題』筑摩書房.)
- Mies, Maria, 1986, *Patriarchy and Accumulation on a World Scale: Women in the International Division of Labour*, London and Atlantic Highlands, NJ: Zed Books. (奥田暁子訳, 1997, 『国際分業と女性——進行する主婦化』日本経済評論社.)
- Mies, Maria, Veronika Benholdt-Thomsen and Claudia von Werlhof, 1988, *Women: the Last Colony*, London: Zed Books. (古田睦美・善本裕子訳, 1995, 『世界システムと女性』藤原書店.)
- 三成美保, 2005, 『ジェンダーの法史学——近代ドイツの家族とセクシュアリティ』勁草書房.
- 宮本みち子, 2004, 『ポスト青年期と親子戦略——大人になる意味と形の変容』勁草書房.
- 宮本太郎, イト・ベング, 埋橋孝文, 2003, 「日本型福祉国家の位置と動態」G. エスピン-アンデルセン編・埋橋孝文監訳『転換期の福祉国家——グローバル経済下の適応戦略』早稲田大学出版局. (Partial translation of Gøsta Esping-Andersen ed., 1996, *Welfare State in Transition: National Adaptations in Global Economies*, London: Sage, with additional chapters.)
- 宮坂靖子編, 2004, 『アジア諸社会におけるジェンダーの比較研究——日本・韓国・中国・タイ・シンガポールを対象に』平成13年度～15年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(1))研究成果報告書.
- 宮坂靖子・藤田道代, 2004, 「中国江蘇省無錫市における育児とジェンダー・親族ネットワーク」宮坂靖子編『アジア諸社会におけるジェンダーの比較研究——日本・韓国・中国・タイ・シンガポールを対象に』平成13年度～15年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(1))研究成果報告書.
- Modell, John, Frank F. Furstenberg, Jr. and Theodore Hershberg, 1976, "Social Change and Transition to Adulthood in Historical Perspective," *Journal of Family History*, 1: 7-32.
- Moore, Jason W., 2015, *Capitalism in the Web-of-Life: Ecology and the Accumulation of Capital*, London: Verso. (山下範久・滝口良訳, 2021, 『生命の網のなかの資本主義』東洋経済新報社.)
- Morel, Nathalie, Bruno Palier and Joakim Palme eds., 2012, *Towards a Social Investment Welfare State?: Ideas, Policies and Challenges*, Bristol: Policy Press.
- 森本一彦・平井晶子・落合恵美子編, 2022, 『リーディングス アジアの家族と親密圏1 家族イデオロギー』有斐閣.
- 森岡清美, 1993, 『現代家族変動論』ミネルヴァ書房.
- 村上泰亮・公文俊平・佐藤誠三郎, 1979, 『文明としてのイエ社会』中央公論社.
- 内閣府, 2014, 『男女共同参画白書(平成26年版)』.(http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h26/zentai/ 2015年6月8日アクセス.)
- 内閣府共生社会政策統括官, 2005, 「少子化社会に関する国際意識調査」.
- 内閣府共生社会政策統括官, 2007, 『子ども子育て白書』.
- 内閣府共生社会政策統括官, 2009, 「アジア地域(韓国, シンガポール, 日本)における少子化社会対策の国際比較調査研究報告書」.
- 内閣府共生社会政策統括官, 2010, 『子ども子育て白書(平成22年版)』.
- 中島満大, 2015, 「西南海村の人口・結婚・婚外出生」落合恵美子編『徳川日本の家族と地域性——歴史人口学との対話』ミネルヴァ書房.
- 中島満大, 2016, 『近世西南海村の家族と地域性——歴史人口学から近代のはじまりを問う』ミネルヴァ書房.

- 中曾根康弘, 1995, 「新しい日本の主体性 (講演録, 1985年7月27日)」『中曾根内閣史 資料編』世界平和研究所.
- 根ヶ山光一・外山紀子・宮内洋編, 2019, 『共有する子育て——沖縄多良間島のアロマザリングに学ぶ』金子書房.
- 日本学術会議学術とジェンダー委員会, 2006, 『ジェンダー視点が拓く学術と社会の未来』日本学術会議.
- 日本経営者団体連盟, 1995, 『新時代の「日本的経営」——挑戦すべき方向とその具体策』.
- 野角裕美子, 2021, 「『2020年度自治体会計年度任用職員賃金・労働条件制度調査』結果からみえる成果と課題」『月刊自治研』4月号: 26-35.
- Nyberg, Anita, 1994, "The Social Construction of Married Women's Labour-force Participation," *Continuity and Change*, 9 (1): 145-56.
- 落合恵美子, 1985, 「〈近代家族〉の誕生と終焉——歴史社会学の眼」『現代思想』青土社, 13(6): 70-83. (再録: 1989a, 2022a, 『近代家族とフェミニズム』勁草書房.)
- 落合恵美子, 1988, 「現代化路線と『婦女回家』論争のゆくえ」別冊宝島編集部編『わかりたいあなたのためのフェミニズム・入門——フェミニズム理論の見取図と世界各国の状況がわかる本!』JICC出版局. (再録: 1989a, 『近代家族とフェミニズム』勁草書房.)
- 落合恵美子, 1989a, 『近代家族とフェミニズム』勁草書房.
- 落合恵美子, 1989b 「中国女性は家に帰るか——現代化路線と婦女回家論争のゆくえ」『近代家族とフェミニズム』勁草書房.
- 落合恵美子, 1993a, 「家族の社会的ネットワークと人口学的世代——60年代と80年代の比較から」蓮見音彦・奥田道大編『21世紀日本のネオ・コミュニティ』東京大学出版会.
- 落合恵美子, 1993b, 「家事労働力不足の時代」石川実・大村英昭・塩原勉編『ターミナル家族』NTT出版, 79-102頁.
- 落合恵美子, 1994, 『21世紀家族へ——家族の戦後体制の見かた・超えかた』有斐閣.
- 落合恵美子, 1996, 「近代家族をめぐる言説」井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・貝田宗介・吉見俊哉編『岩波講座現代社会学 19〈家族〉の社会学』岩波書店.
- 落合恵美子, 1997, 『21世紀家族へ (新版)』有斐閣.
- 落合恵美子, 2000, 『近代家族の曲がり角』角川書店.
- 落合恵美子, 2003a, 「アジアの共働き社会における子育てを支えるもの——中国・タイ・シンガポールの場合」『現代のエスプリ』429: 93-107. (本書第5章)
- 落合恵美子, 2003b, 「タイ都市中間層の形成と家族の幸福」『アジア新世紀4 幸福』岩波書店.
- 落合恵美子, 2004a, 『21世紀家族へ——家族の戦後体制の見かた・超えかた (第3版)』有斐閣.
- 落合恵美子, 2004b, 「歴史的に見た日本の婚姻——原型か異文化か」『家族社会学研究』15(2): 39-51.
- 落合恵美子, 2004c, 「歴史人口学から見た家・村・ライフコース——小農社会論としての家・村論再考」日本村落研究学会編『年報村落社会研究』39: 49-96.
- 落合恵美子, 2005, 「現代アジアにおける主婦の誕生——グローバル化と近代家族」大阪大学大学院文学研究科日本学研究室『日本学報』24: 3-28. (本書第7章)
- 落合恵美子, 2006, 「高齢者の『子ども』との同居」落合恵美子編『徳川日本のライフコース——歴史人口学との対話』ミネルヴァ書房.
- 落合恵美子編, 2006, 『徳川日本のライフコース——歴史人口学との対話』ミネルヴァ書房.
- 落合恵美子, 2007a, 「アジア市民社会における家族とジェンダー——『第2の近代』の岐路」棚瀬孝雄編『市民社会と法——変容する日本と韓国の社会』ミネルヴァ書房.
- 落合恵美子, 2007b, 「グローバル化する家族——台湾の外国人家事労働者と外国人妻」紀平英作編『グローバル化時代の人文学——対話と寛容の知を求めて (下) 共生への問い』京都大学学術

- 出版会。(本書第6章)
- 落合恵美子, 2008a, 「現代中国都市家族の社会的ネットワーク——無錫市の事例から」首藤明和・落合恵美子・小林一穂編『分岐する現代中国家族』明石書店。
- 落合恵美子, 2008b, 「アジアにおけるケアネットワークと福祉ミックス——家族社会学と福祉社会学との結合」『家族研究年報』33: 3-20。
- Ochiai, Emiko, 2008, "Researching Gender and Childcare in Contemporary Asia," Emiko Ochiai and Barbara Molony eds., *Asia's New Mothers: Crafting Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies*, Folkenstone: Global Oriental.
- Ochiai, Emiko, 2009, "Care Diamonds and Welfare Regimes in East and Southeast Asian Societies: Bridging Family and Welfare Sociology," *International Journal of Japanese Sociology*, 18(1): 60-78. [Revised and republished in Emiko Ochiai and Leo Aoi Hosoya eds., 2014, *Transformation of the Intimate and the Public in Asian Modernity*, Leiden: Brill.] (本書第8章)
- 落合恵美子, 2011, 「個人化と家族主義——東アジアとヨーロッパ, そして日本」ウルリッヒ・ベック, 鈴木宗徳, 伊藤美登里編『リスク化する日本社会——ウルリッヒ・ベックとの対話』岩波書店。
- Ochiai, Emiko, 2011, "Unsustainable Societies: The Failure of Familialism in East Asia's Compressed Modernity," *Historical Social Research*, 36: 219-45. (日本語訳: 落合恵美子編, 2013c, 『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』所収。本書第9章。)
- 落合恵美子, 2012, 「親密性の労働とアジア女性の構築」落合恵美子・赤枝香奈子編『アジア女性と親密性の労働』勁草書房。
- 落合恵美子, 2013a, 「アジア近代における親密圏と公共圏の再編成——『圧縮された近代』と『家族主義』」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会。
- 落合恵美子, 2013b, 「ケアダイヤモンドと福祉レジーム——東アジア・東南アジア6社会の比較研究」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会。(本書第8章)
- 落合恵美子, 2013c, 「東アジアの低出生率と家族主義——半圧縮近代としての日本」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会。(本書第9章)
- Ochiai, Emiko, 2013, "Paradigm Shifts in Japanese Family Sociology," *International Journal of Japanese Sociology*, 22: 104-27.
- 落合恵美子, 2014a, 「アジアにおけるケアレジームの比較研究——3つのチャレンジ」『福祉社会学研究』11: 29-45。
- 落合恵美子, 2014b, 「近代世界の転換と家族変動の論理——アジアとヨーロッパ」『社会学評論』64(4), 533-51. (本書第2章)
- Ochiai, Emiko, 2014a, "The Meaning of the Second Demographic Transition and an Establishment of a Mature Society," *European Societies*, 16(3): 343-46.
- Ochiai, Emiko, 2014b, "Reconstruction of Intimate and Public Spheres in Asian Modernity," Emiko Ochiai and Hosoya Leo Aoi eds., *Transformation of the Intimate and the Public in Asian Modernity*, Leiden: Brill.
- Ochiai, Emiko, 2014c, "Leaving the West, Rejoining the East? Gender and Family in Japan's Semi-compressed Modernity," *International Sociology*, 29(3): 209-28.
- 落合恵美子編, 2015, 『徳川日本の家族と地域性——歴史人口学との対話』ミネルヴァ書房。
- 落合恵美子, 2015a, 「徳川日本の家族と地域性研究の新展開」落合恵美子編『徳川日本の家族と地域性——歴史人口学との対話』ミネルヴァ書房。
- 落合恵美子, 2015b, 「時代の転換をデザインするジェンダー」落合恵美子・橋木俊詔編『変革の

- 鍵としてのジェンダー——歴史・政策・運動』ミネルヴァ書房。
- 落合恵美子, 2016, 「フランス福祉国家の変容と子どものケア——『アジア化するヨーロッパ』仮説の検討」『京都社会学年報』24: 17-55. (本書第11章)
- Ochiai, Emiko, 2017, "Human Reproduction in Mature Societies: Different Paths of Longevity Revolution in Europe, Asia and America," presented at the Workshop "Crisis of Social Reproduction: Struggles over Nature, Community, Democracy and Care" held at Collège d'Etudes Mondiales/FMSH, March 13-14, Paris.
- 落合恵美子, 2018, 「つまずきの石としての1980年代——『縮んだ戦後体制』の人間再生産」アンドルー・ゴードン, 瀧井一博編『創発する日本へ——ポスト「失われた20年」のデッサン』弘文堂. (本書第14章)
- Ochiai, Emiko, 2018, "Toward a Theory of Human Reproduction in Mature Societies: Asian, European and American Paths," Keynote speech, SASE, Doshisha University, Kyoto, June 24.
- 落合恵美子, 2019a, 『21世紀家族へ——家族の戦後体制の見かた・超えかた (第4版)』有斐閣.
- 落合恵美子, 2019b, 「『アジア』と『日本』の再定義——隣人と共に考えるための知的基盤形成」『社会学評論』70(3): 200-21.
- 落合恵美子, 2019c, 「親密圏と公共圏の構造転換——ハーバーマスをこえて」『思想』4月号: 146-66, 岩波書店. (本書第1章)
- Ochiai, Emiko, 2020, "The Logics of Gender Construction in Asian Modernities," Jieyu Liu and Junko Yamashita eds., *Routledge Handbook of East Asian Gender Studies*, Abingdon, Oxon: Routledge.
- 落合恵美子, 2020, 「『少子化』と向き合うために知ってほしい四つのポイント」『Journalism』359: 34-43, 朝日新聞社.
- 落合恵美子編, 2021, 『どうする日本の家族政策』ミネルヴァ書房.
- 落合恵美子, 2021a, 「序章 家族をひらく家族政策」「第1章 子育て支援」落合恵美子編『どうする日本の家族政策』ミネルヴァ書房.
- 落合恵美子, 2021b, 「1970年代以降の人口政策とその結果——アジアにおけるケアの脱家族化を中心に」「人口動態と経済・社会の変化に関する研究会」報告書, 財務総合政策研究所. (本書第10章)
- Ochiai, Emiko, 2021, "Introduction: Care and Familialism Reconsidered," Emiko Ochiai and Patricia Uberoi eds., *Asian Families and Intimacies*, III, Delhi: Sage. (本書第4章)
- 落合恵美子, 2022a, 『近代家族とフェミニズム (増補新版)』勁草書房.
- 落合恵美子, 2022b, 「アジアの重層的多様性——セクシュアリティとジェンダーから見る」落合恵美子・森本一彦・平井晶子編『アジアの家族と親密圏3 セクシュアリティとジェンダー』有斐閣.
- 落合恵美子, 2022c, 「百歳女性のライフヒストリー——九州海村の恋と生活」落合恵美子・森本一彦・平井晶子編, 2022, 『リーディングス アジアの家族と親密圏3 セクシュアリティとジェンダー』有斐閣.
- 落合恵美子, 2022d, 「親族構造・文明化・近代化——世界的視野における『儒教社会』」小浜正子・落合恵美子編『東アジアは「儒教社会」か? ——アジア家族の変容』京都大学学術出版会.
- 落合恵美子, 2022e, 「アジアと共に考えるための共通基盤形成——『リーディングス アジアの家族と親密圏』刊行のねらいと成果」『家族社会学研究』34(2): 107-17.
- 落合恵美子, 2023 刊行予定, 「Caring Society——生を包摂する社会と社会科学」『フォーラム現代社会学』22.
- Ochiai, Emiko ed., forthcoming, *Transforming Familialism*.
- 落合恵美子・阿部彩・埋橋孝文・田宮遊子・四方理人, 2010, 「日本におけるケア・ダイヤモンド

- の再編成——介護保険は『家族主義』を変えたか』『海外社会保障研究』170: 4-19, 国立社会保障・人口問題研究所.
- Ochiai, Emiko, Aya Abe, Takafumi Uzuhashi, Yuko Tamiya and Masato Shikata, 2012, "The Struggle against Familialism: Reconfiguration of Care Diamond in Japan," Shahra Razavi and Silke Staab eds., *Global Variations in the Political and Social Economy of Care: Worlds Apart*, New York and London: Routledge.
- 落合恵美子・赤枝香奈子編, 2012, 『アジア女性と親密性の労働』勁草書房.
- Ochiai, Emiko and Kaoru Aoyama eds., 2013, *Asian Women and Intimate Work*, Leiden: Brill.
- Ochiai, Emiko and Shoko Hirai eds., 2023, *Japanizing Japanese Families: Regional Diversity and the Emergence of a National Family Model through the Eyes of Historical Demography*, Leiden: Brill.
- 落合恵美子・石川義孝・リャウ・カオリー, 2007, 「国際移動の女性化——国際結婚を中心に」石川義孝編『人口減少と地域』京都大学学術出版会.
- Ochiai, Emiko and Kenichi Johshita, 2014, "Prime Ministers' Discourse in Japan's Reforms since the 1980s: Traditionalization of Modernity rather than Confucianism," Sirin Sung and Gillian Pascall eds., *Gender and Welfare State in East Asia: Confucianism or Equality?*, Basingstoke: Palgrave Macmillan.
- 落合恵美子・城下賢一, 2015, 「歴代首相の国会発言に見る『家族』と『女性』——『失われた20年』のイデオロギー的背景」落合恵美子・橋木俊昭編『変革の鍵としてのジェンダー——歴史・政策・運動』ミネルヴァ書房 (本書第13章).
- 落合恵美子・宮坂靖子・周維宏・山根真理編著, 2010, 『亞洲社会的家庭和两性关系——中日韓新泰(五国六地) 实证和比较研究』北京: 世界知识出版社.
- Ochiai, Emiko and Barbara Molony eds., 2008, *Asia's New Mothers: Crafting Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies*, Folkestone: Global Oriental.
- 落合恵美子・森本一彦・平井晶子編, 2022, 『リーディングス アジアの家族と親密圏3 セクシュアリティとジェンダー』有斐閣.
- 落合恵美子・鈴木七海, 2021, 「COVID-19 緊急事態宣言下における在宅勤務の実態調査——家族およびジェンダーへの効果を中心に」『京都社会学年報』28: 1-13.
- Ochiai, Emiko and Patricia Uberoi eds., 2021, *Asian Families and Intimacies*, 4 vols., Delhi: Sage.
- 落合恵美子・上野加代子編, 2006, 『21世紀アジア家族』明石書店.
- 落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編, 2007, 『アジアの家族とジェンダー』勁草書房.
- 落合恵美子・山根真理・宮坂靖子・周維宏・斧出節子・木脇奈智子・藤田道代・洪上旭, 2004, 「変容するアジア諸社会における育児援助ネットワークとジェンダー——中国・タイ・シンガポール・台湾・韓国・日本」『教育学研究』71(4): 382-98.
- Ochiai, Emiko, Mari Yamane, Yasuko Miyasaka, Zhou Weihong, Onode Setsuko, Kiwaki Nachiko, Fujita Michiyo and Hong Sang Ook, 2008, "Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies," Emiko Ochiai and Barbara Molony eds., *Asia's New Mothers: Crafting Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies*, Folkestone: Global Oriental, 31-70.
- 落合仁司, 1987, 『保守主義の社会理論——ハイエク・ハート・オースティン』勁草書房.
- 大熊信行, 1974, 『生命再生産の理論——人間中心の思想(上)』東洋経済新報社.
- 大熊信行, 1975, 『生命再生産の理論——人間中心の思想(下)』東洋経済新報社.
- 小倉紀蔵, 2012, 『朱子学化する日本近代』藤原書店.
- Ohlsson-Wijk, Sofi, 2011, "Sweden's Marriage Revival: An Analysis of the New-Millennium Switch from Long-Term Decline to Increasing Popularity," *Population Studies*, 65(2): 183-200.

- 岡本英雄・直井優・岩井八郎, 1990, 「ライフコースとキャリア」岡本英雄・直井道子編『現代日本の階層構造 4 女性と社会階層』東京大学出版会.
- 斧出節子, 2004, 「バンコク都中間層の家族における家事・育児の実態と価値・規範」宮坂靖子編『アジア諸社会におけるジェンダーの比較研究——日本・韓国・中国・タイ・シンガポールを対象に』平成13年度~15年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(1))研究成果報告書.
- 斧出節子, 2007, 「タイ・バンコク都における中間層の家事・育児・介護」落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房.
- 長田洋司, 2008, 「中国都市部における社区建設の取組みと高齢者への対応」首藤明和・落合恵美子・小林一穂編『分岐する現代中国家族——個人と家族の再編成』明石書店.
- 大沢真知子, 1993, 『経済変化と女子労働——日米の比較研究』日本経済評論社.
- 大沢真理, 2002, 『男女共同参画社会をつくる』日本放送出版協会.
- 大沢真理, 2015, 「日本の社会政策は就業や育児を罰している」『家族社会学研究』27(1): 24-35.
- 押川文子, 2012, 「インド都市中間層における『主婦』と家事」落合恵美子・赤枝香奈子編『アジア女性と親密性の労働』京都大学学術出版会.
- 大嶽秀夫, 1994, 『自由主義的改革の時代——1980年代前期の日本政治』中央公論社.
- 大嶽秀夫, 2007, 『新左翼の遺産——ニューレフトからポストモダンへ』東京大学出版会.
- 大嶽秀夫, 2011, 『20世紀アメリカン・システムとジェンダー秩序——政治社会学的考察』岩波書店.
- 大嶽秀夫, 2015, 「政治体制論から見た第1波フェミニズム」落合恵美子・橘木俊詔編『変革の鍵としてのジェンダー——歴史・政策・運動』ミネルヴァ書房.
- 朴(Park)京淑・山根真理, 2007, 「韓国女性のライフコースと仕事・家庭役割の意味」落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房.
- Pettus, Ashley, 2003, *Between Sacrifice and Desire: National Identity and Governing of Femininity in Vietnam*, London and New York: Routledge.
- Polanyi, Karl, 1977, *The Livelihood of Man*, New York: Academic Press. (玉野井芳郎ほか訳, 1980, 『人間の経済 I 市場社会の虚構性』岩波書店.)
- Pongsapitaksanti, Piya, 2017, "Gender and Working Roles in Television Commercials: A Comparison between Japanese and Thai Television Commercials," *Japanese Studies Journal*, Special Edition, Japanese Studies Association of Thailand, 159-71.
- 喬曉春(Qiao Xiao-chun, 乔晓春), 2021, 「从“七普”数据看中国人口发展, 变化和现状」『人口与发展』27(4): 74-88.
- ライカイ, ジョンボル, 2002, 「『核家族化と子ども中心主義』再考——30人の家族史の事例から」『京都社会学年報』10: 189-200.
- ライカイ・ジョンボル, 2007, 「『空虚な個人化』と家族の連帯——構造・体制変動を経験したハンガリー」『ソシオロジ』52(2): 93-107.
- Rajkai, Zsombor ed., 2014, *Family and Social Change in Socialist and Post-socialist Societies: Change and Continuity in Eastern Europe and East Asia*, Leiden: Brill.
- Razavi, Shahra, 2007, "The Political and Social Economy of Care in a Development Context," Gender and Development Programme Paper No. 3. Geneva: UNRISD.
- Razavi, Shahra, 2010, 「政治, 社会, 経済からみたケアの国際比較——開発の視点から」『海外社会保障研究』170: 31-49.
- Razavi, Shahra and Silke Staab, 2012, "Introduction," Shanra Razavi and Silke Staab eds, *Global Variations in the Political and Social Economy of Care: Worlds Apart*, New York: Routledge.
- Razavi, Shahra and Silke Staab eds., 2012, *Global Variations in the Political and Social Economy of Care: Worlds Apart*, New York and London: Routledge.

- Reid, Anthony, 1993, *Southeast Asia in the Age of Commerce, 1450-1680, Vol. 2: Expansion and Crisis*, New Haven and London: Yale University Press. (平野秀秋・田中優子訳, 2002, 『大航海時代の東南アジア——1450-1680年 II 拡張と危機』法政大学出版局。)
- Rose, Richard and Rei Shiratori eds., 1986, *The Welfare State East and West*, Oxford: Oxford University Press.
- 労働政策研究・研修機構, 2014, 『データブック国際労働比較』。(http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2014/documents/Databook2014.pdf 2014年12月21日アクセス。)
- Said, Edward W., 1978, *Orientalism*, New York: Pantheon Books.
- Sainsbury, Diane, 1996, *Gender, Equality and Welfare State*, Cambridge: Cambridge University Press.
- 齋藤純一, 2000, 『公共性』岩波書店。
- 齋藤純一編, 2003, 『親密圏のポリティクス』ナカニシヤ出版。
- 齋藤修, 1991, 「農業発展と女性労働——日本の歴史的経験」『経済研究』42(1): 31-41.
- 酒井直樹, 1996, 『死産される日本語・日本人——「日本」の歴史-地政的配置』新曜社。
- Sassen, Saskia, 2004, "Global Cities and Survival Circuit," B. Ehrenreich and A. R. Hochschild eds., *Global Woman: Nannies, Maids, and Sex Workers in the New Economy*, New York: Owl Books.
- Sato, Yoshimichi and Jun Kobayashi, 2012, "Coexistence of Stability and Increasing Stability in Contemporary Japan," presented at the American Sociological Association Annual Meeting.
- Saw, Swee-Hock, 1984, *The Labour Force of Singapore (Census Monograph No.3)*, Department of Statistics Singapore.
- 沢山美果子, 1990, 「子育てにおける男と女」女性史総合研究会編『日本女性生活史4近代』東京大学出版会。
- Saxonberg, Steven and Tomáš Sirovátka, 2006, "Failing Family Policy in Post-communist Central Europe," *Journal of Comparative Policy Analysis: Research and Practice*, 8(2): 185-202.
- 瀬地山角, 1996, 『東アジアの家父長制——ジェンダーの比較社会学』勁草書房。
- 盛山和夫, 1993, 「『核家族化』の日本的意味」直井優・盛山和夫・間々田孝夫編『日本社会の新潮流』東京大学出版会。
- 盛山和夫, 2000, 「ジェンダーと階層の歴史と論理」盛山和夫編『日本の階層システム4ジェンダー・市場・家族』東京大学出版会。
- 仙田幸子, 2002, 「大都市圏の女性のフルタイム継続率にかかわる要因の検討」『家族社会学研究』13(2): 63-72.
- Sermsathanasawat, Wachana, 2022, "Mother's Politics and Motherhood in Southeast Asia," a lecture at the "Global Gender Talk Series" at Roi Et Rajabhat University, December 28.
- 滋賀秀三, 1967, 『中国家族法の原理』創文社。
- 下夷美幸, 2015, 「ケア政策における家族の位置」『家族社会学研究』27(1): 49-60.
- 新川敏光, 2005, 『日本型福祉レジームの発展と変容』ミネルヴァ書房。
- 篠崎正美, 1999, 「東アジアの高齢化といわゆる『親孝行法』」田村慶子・篠崎正美編『アジアの社会変動とジェンダー』明石書店。
- 宿谷京子, 1988, 『アジアから来た花嫁——迎える側の論理』明石書店。
- 首相官邸「アベノミクス 成長戦略で、明るい日本に！」首相官邸ウェブページ。(http://www.kantei.go.jp/jp/headline/seicho_senryaku2013.html 2014年12月30日アクセス。)
- 首藤明和, 2008a, 「漢人家族の『個人と家族』の再考に向けて」首藤明和・落合恵美子・小林一穂編『分岐する現代中国家族——個人と家族の再編成』明石書店。
- 首藤明和, 2008b, 「漢人家族の代親機能と老親扶養」首藤明和・落合恵美子・小林一穂編『分岐

- する現代中国家族——個人と家族の再編成』明石書店。
- Singapore Department of Statistics, 2002, *Yearbook of Statistics Singapore*, 2002.
- Singapore Department of Statistics, 2010, *Statistics on Marriages and Divorces*, 2009.
- Sinha, Jania N., 1965, "Dynamics of Female Participation in Economic Activity in a Developing Economy," United Nations World Population Conference, Document WPC/285.
- 白鳥令・R. ローズ編 (木島賢・川口洋子訳), 2002, 『世界の福祉国家——課題と将来』新評論。
- Sittirak, Sinith, 1998, *The Daughters of Development: Women and the Changing Environment*, London: Zed Books. (「地球の木」シニットさんの本を読む会訳, 1999, 『母のキッチンガーデンから——「もったいない」と「豊かさ」のゆくえ』築地書館。)
- Smith, Thomas C., 1977, *Nakahara: Family Farming and Population in a Japanese Village, 1717-1830*, Stanford: Stanford University Press.
- Sørensen, Mads P. and Allan Christiansen, 2013, *Ulrich Beck: An Introduction to the Theory of Second Modernity and the Risk Society*, London and New York: Routledge.
- Statistics Korea, 2008, *Social Trends 2008*.
- Stuckler, David and Sanjay Basu, 2013, *The Body Economic: Why Austerity Kills*, New York: Basic Books. (橋明美・白井美子訳, 2014, 『経済政策で人は死ぬか? ——公衆衛生学から見た不況対策』草思社。)
- 菅桂太, 2010, 「シンガポールにおける少子化要因の分析」鈴木透編『東アジアの家族人口学的変動と家族政策に関する国際比較研究』(厚生労働科研報告書)。
- Sun De-Hsiung, 2009, "Causes and Results of Low Fertility in Taiwan," *Community Development Quarterly*, 125: 44-55. (in Chinese)
- Sung, Sirin and Gillian Pascall eds., 2014, *Gender and Welfare State in East Asia: Confucianism or Equality?* Basingstoke: Palgrave Macmillan.
- 鈴木透, 2009, 「ポスト近代化と東アジアの極低出生力」『人口問題研究』65(4): 1-7。
- 鈴木透編, 2010, 『東アジアの家族人口学的変動と家族政策に関する国際比較研究』(厚生労働科研報告書)。
- Taiwan Ministry of Interior, 2010, *Demographic Yearbook*.
- 高木侃, 1992, 『三くだり半と縁切寺——江戸の離婚を読みなおす』講談社現代新書。
- 高木侃, 1999, 『増補三くだり半——江戸の離婚と女性たち』平凡社。
- 高橋梵仙, 1981, 『墮胎問引の研究』第一書房。
- 武川正吾, 2005, 「福祉オリエンタリズムの終焉」武川正吾・キム・ヨンミョン編『韓国の福祉国家・日本の福祉国家』東信堂。
- 武川正吾, 2007, 『連帯と承認——グローバル化と個人化のなかの福祉国家』東京大学出版会。
- 竹中恵美子, 2002, 「家事労働論の現段階」久場嬉子編『経済学とジェンダー』明石書店。
- 竹信三恵子, 2021, 「官製ワーキングプアの女性たちの『コロナ後』」緊急オンライン集会「官製ワーキングプアの女性たち コロナ後のリアル」3月20日。
- 竹信三恵子・戒能民江・瀬山紀子編, 2020, 『官製ワーキングプアの女性たち——あなたを支える人たちのリアル』岩波書店。
- Tamiya, Yuko and Masato Shikata, 2010, "Analysis of Time Use Surveys on Work and Care in Japan," Debbie Budlender ed., *Time Use Studies and Unpaid Care Work*, New York: Routledge/UNRISD.
- 田村慶子, 1999, 「創られる『家族の肖像』——『アジア的価値』とシンガポールの女性」田村慶子・篠崎正美編『アジアの社会変動とジェンダー』明石書店。
- 田村慶子・篠崎正美編, 1999, 『アジアの社会変動とジェンダー』明石書店。
- 田中重人, 1999, 『性別分業の分析——その実態と変容の条件』(博士論文) 大阪大学大学院人間科

- 学研究科.
- The Care Collective, 2020, *The Care Manifesto: The Politics of Interdependence*, : London Verso.
(ケア・コレクティヴ著, 岡野八代・富岡薫・武田宏子訳・解説, 2021, 『ケア宣言——相互依存の政治へ』大月書店.)
- Taylor-Gooby, Peter ed., 2004, *New Risks, New Welfare: The Transformation of the European Welfare State*, Oxford University Press.
- 徳光直子, 2022, 「フランスの児童保護制度に見る養育者支援とその課題——養育者支援から子どもに焦点を置いた支援へ」黒田公美編『子ども虐待を防ぐ養育者支援——脳科学, 臨床から社会制度まで』岩崎学術出版社.
- 富永茂樹, 2010, 『トクヴィル——現代へのまなざし』岩波新書.
- Tomobe, Ken'ichi, 2001, "The Level of Fertility in Tokugawa and Meiji Japan, c. 1800s-1930s," T. Liu et al eds., *Asian Population History*, Oxford and New York: Oxford University Press.
- Tóth, Olga, 2010, "Incongruences and Coincidences between Family/Gender Attitudes and Behaviour in Hungarian Society," presented at the GCOE meeting on "Empty Individualization and Familism in Transitional Societies: Hungary as a Case Study" held at Kyoto University on December 14.
- 豊永郁子, 2008, 『新保守主義の作用——中曽根・ブレア・ブッシュと政治の変容』勁草書房.
- 坪内良博・前田成文, 1977, 『核家族再考』弘文堂.
- 上野千鶴子, 1990, 『家父長制と資本制——マルクス主義フェミニズムの地平』岩波書店.
- 上野千鶴子編, 1982, 『主婦論争を読む——全記録』勁草書房.
- Ueno, Kayoko, 2008, "Foreign Domestic Workers in Singapore," Emiko Ochiai and Barbara Molony eds., *Asia's New Mothers: Crafting Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies*, Folkestone: Global Oriental.
- 上野加代子, 2011, 『国境を越えるアジアの家事労働者——女性たちの生活戦略』世界思想社.
- 梅村又次・赤坂敬子・南亮進・新居玄武・伊藤繁・高松信清, 1988, 『長期経済統計——推計と分析 2 労働力』東洋経済新報社.
- United Nations Statistics Division, 2008, *Demographic Yearbook 2008*.
- van de Kaa, Dirk J., 1987, "Europe's Second Demographic Transition," *Population Bulletin*, 42 (1): 1-59, Washington: Population Reference Bureau.
- van de Kaa, Dirk J., 1999, "Europe and Its Population: The Long View," D. J. van de Kaa, H. Leriche, G. Gesano and M. Okolski, *European Populations: Unity in Diversity*, Dordrecht and Boston: Kluwer Academic Publishers.
- ヴァン・デ・カー, デイルク J. (福田亘孝訳) 2002, 「先進諸国における『第2の人口転換』」『人口問題研究』58(1): 22-56.
- Vanovermeir, Solveig, 2012, L'accueil des jeunes enfants: axe majeur de la politique familiale française depuis le années 1970, *Dossiers Solidarité et Santé* n° 31.
- Vatuk, Sylvia (シルヴィア・ヴァトゥク), 1990, "To Be a Burden on Others: Dependency Anxiety among the Elderly in India," O. Lynch ed., *Divine Passions: The Social Construction of Emotion in India*, Delhi: Oxford University Press. (五百井亮・押川文字子訳, 2022, 「他者の負担になること——インドの高齢者の依存不安」平井晶子・落合恵美子・森本一彦編, 2022, 『リーディングス アジアの家族と親密圏 2 結婚とケア』有斐閣.)
- Vogel, Ezra, 1979, *Japan as Number One*, Cambridge: Harvard University Press.
- Walby, Sylvia, 2009, *Globalization and Inequalities*, Los Angeles: Sage.
- 渡辺浩, 2010, 『近世日本社会と宋学 (増補新装版)』東京大学出版会.
- 渡辺京二, 1998, 『逝きし世の面影』葦書房.

- Werlhof, Claudia von, 1988, "Warum Bauern und Hausfrauen im Kapitalistischen Weltsystem nicht Verschwinden," Maria Mies, Veronika Benholdt-Thomsen and Claudia von Werlhof, 1988, *Women: the Last Colony*, London: Zed Books. (善本裕子訳, 1995, 「農民と主婦が資本主義世界システムの中で消滅しないのはなぜか」古田睦美・善本裕子訳, 『世界システムと女性』藤原書店.)
- Werlhof, Claudia von, 1991, *Was Haben die Huhner mit dem Dollar zu tun?*, Verlag Frauenoffensive. (伊藤明子訳, 2004, 『女性と経済——主婦化・農民化する世界』日本経済評論社.)
- Wolfenden, John, 1978, *The Future of Voluntary Organisations: Report of the Wolfenden Committee*, London: Croom Helm.
- Wongboonsin, Kua, 2002, *Prachakornsat: Sara phua kantatsinjai choeng thurakit* (人口学——ビジネスにおける決定のために), Bangkok: Chulalongkorn University Press.
- Wongboonsin, Kua, 2004, "The Demographic Dividend and M-curve Labor Force Participation in Thailand," *Applied Population and Policy*, 1(2): 115-22.
- Wongboonsin, Kua and Philip Guest eds., 2005, *The Demographic Dividend: Policy Options for Asia*, Bangkok: College of Population Studies, Chulalongkorn University.
- Wongboonsin, Kua, Chintana Pejaranonda, Preeya Mithranon, Suwanee Surasiengsunk and Philip Guest, 2002, "Fertility Continues to Fall in Thailand: Estimates from the 2000 Census," *The National Seminar on Population: 2002*, Bangkok: The Thai Population Association, 33-46.
- 呉咏梅 (Wu Yongmei), 2012, 「モダンティを売る——1920-30年代上海における『月份牌』と雑誌広告に見る主婦像」落合恵美子・赤枝香奈子編『アジア女性と親密性の労働』京都大学出版会.
- Xu Zhening (徐浙宁, 徐浙寧, シュー・ジョーニン), 2009, 「我国关于儿童早期发展的家庭政策 (1980-2008) ——从家庭支持到支持家庭?」『青年研究』第4期, 47-59. (織田暁子・陳玲・平井晶子訳, 2022, 「中国における幼児期の発達に関する家族政策 1980-2008 ——『家族責任』から『家族支援』へ?」平井晶子・落合恵美子・森本一彦編『リーディングス アジアの家族と親密圏2 結婚とケア』有斐閣.)
- Yang Shanhua and Shen Chonglin, 2004, "Changes in Family Income Patterns in Urban China since the Reforms," presented at the 36th World Congress of International Institute of Sociology, Beijing, July 7-11.
- 山田昌弘, 1994, 『近代家族のゆくえ——家族と愛情のパラドックス』新曜社.
- 山田昌弘, 1999, 『パラサイトシングルの時代』ちくま新書.
- 山田昌弘, 2001, 『家族というリスク』勁草書房.
- 山田昌弘, 2004a, 『希望格差社会——「負け組」の絶望感が日本を引き裂く』筑摩書房.
- 山田昌弘, 2004b, 「家族の個人化」『社会学評論』54(4): 341-54.
- 山田千秀, 2010, 「フランス及びドイツにおける家族政策——海外調査報告」『立法と調査』310: 3-12.
- 山地久美子, 2010, 「韓国社会の多文化家族と支援政策」鈴木透編『東アジアの家族人口学的変動と家族政策に関する国際比較研究』(厚生労働科研報告書).
- 山本準, 2006, 「人口学的側面からみた姉家督」落合恵美子編『徳川日本のライフコース——歴史人口学との対話』ミネルヴァ書房.
- 山根真理・洪上旭, 2007, 「韓国の母性と育児援助ネットワーク」落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房, 33-50.
- 山谷清志・藤井誠一郎, 2021, 『地域を支えるエッセンシャル・ワーク——保健所・病院・清掃・子育てなどの現場から』ぎょうせい.
- 柳谷慶子, 2005, 「日本近世の高齢者介護と家族」山中永之佑・竹安栄子・曾根ひろみ・白石玲子編『介護と家族』早稲田大学出版部.

- 依田智治, 1995, 「日米安保と防衛政策」『中曽根内閣史——理念と政策』世界平和研究所。
- 横山文野, 2002, 『戦後日本の女性政策』勁草書房。
- 湯浅誠, 2008, 『反貧困——「すべり台社会」からの脱出』岩波新書。
- 湯沢雍彦・宮本みち子, 2008, 『データで読む家族問題（新版）』日本放送出版協会。
- Zaretsky, Eli, 1976, *Capitalism, the Family and Personal Life*, Harper & Row. (グループ7221訳, 1980, 『資本主義・家族・個人生活——現代女性解放論』亜紀書房.)
- 全日本自治団体労働組合, 2020, 『放課後児童クラブ・児童館実態調査報告』。
- Zhang, Yanxia and Mavis Maclean, 2012, "Rolling Back of the State in Child Care: Evidence from Urban China," *International Journal of Sociology and Social Policy*, 32 (11/12), 664-81.
- 張玉林 (Zhang Yulin), 2008, 「離村時代の中国農村家族」首藤明和・落合恵美子・小林一穂編『分岐する現代中国家族——個人と家族の再編成』明石書店。
- 鄭曉瑛 (Zheng Xiaoying) 主編, 1995, 『中国女性人口問題と発展』北京大学出版社。
- 鄭楊 (Zheng Yang), 2003, 「中国都市部の親族ネットワークと国家政策——3都市における育児の実態調査から」『家族社会学研究』14(2): 88-98.
- 鄭楊 (Zheng Yang), 2012, 「市場経済の転換期を生きる中国女性の性別規範——3都市主婦のインタビューを通して」落合恵美子・赤枝香奈子編『アジア女性と親密性の労働』京都大学出版会。
- 鄭楊 (Zheng Yang), 2023, 「育児と労働の競合——中国における『専業ママ』の母親規範を問い直す」平井晶子・中島満大・中里英樹・森本一彦・落合恵美子編『〈わたし〉から始まる社会学——家族とジェンダーから歴史, そして世界へ』有斐閣。
- 鄭怡 (Zheng Yi), 2023, 「『陪読』する中国農村女性の生活実態と人生戦略——国内教育移民に同伴する母親たちの語りから」(修士論文)。
- 周維宏 (Zhou Weihong)・落合恵美子, 2007, 「中国の高齢者」落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房。
- 周燕飛 (Zhou Yanfei), 2020a, 「コロナショックの被害は女性に集中——働き方改革でピンチをチャンスに」JILPTリサーチアイ 第38回, 6月26日。
- 周燕飛 (Zhou Yanfei), 2020b, 「コロナショックの被害は女性に集中(続編)——雇用回復の男女格差」JILPTリサーチアイ 第47回, 9月25日。
- 朱安新 (Zhu Anxin), 2022, 「中国女性の家族意識と婚前同棲に関する実証分析——中国家庭追跡調査2018年のデータに基づいて」外国人招へい研究者事業共同研究会報告, 京都大学, 8月1日。

論文の内容の要旨

論文題目 親密圏と公共圏の社会学 ケアの 20 世紀体制を超えて

氏 名 落合恵美子

「人が生きること」とそれを支える活動である「ケア」は、ほとんどの社会科学の分野で軽視されてきた。近代社会成立の過程で、社会の他の領域から切り離され相対的に閉じた集団として「近代家族」が誕生し、「人間の生命／生活」を支える活動はほとんどが家族内で行われるとされ、公共圏から見えなくなった。社会の自己認識である社会科学にもこの構造が反映された。

人口減少やワークライフバランスの困難などが問題化している今日、「人間の生」と「ケア」を社会科学に「内部化」し、社会に正当に位置づけることが喫緊の課題である。本論文ではそのために歴史的、人口学的、アジア的視点をもった理論的枠組みを提案する。歴史的かつ人口学的視点から「社会的再生産の 20 世紀体制」という構造の持続と変容に注目する。その成立に伴って「ケアの家族化」（公共圏から見れば「外部化」）が起きたが、1970 年代以降の変容により各社会でさまざまな方向への「ケアの脱家族化」（公共圏から見れば「内部化」）が起きているとする枠組みであり、アジア諸社会とりわけ日本社会の現状を「20 世紀体制」の変容のグローバルな見取り図に位置づける。

本論文は 3 部から構成されている。「第 I 部 親密圏と公共圏の変容」では 3 つの視点から導かれる理論的枠組みを提示する。「第 II 部 ケアレジームの再編成」ではアジアを中心とした地域での調査研究に基づきケアの家族化／脱家族化の多様な実態を分析する。「第 III 部 半圧縮近代としての日本」では日本の現状を分岐する世界の中に位置づけて論じる。

第 I 部は 3 つの章から成る。「第 1 章 親密圏と公共圏の構造転換—ハーバーマスを超えて」ではハーバーマスの『公共圏の構造転換』（1973, 1990）を再読し、親密圏と 3 種類の公共圏（政治的、経済的、社会的）が成立してゆく歴史的過程をハーバーマスの記述に沿って整理する。続けてアリエス以来の親密性／親密圏研究により家事労働の社会的再生産からの排除を後付け、ハーバーマスの注目した 19 世紀末の構造転換とギデンズらが主要な関心を向ける 20 世紀末の構造転換に挟まれた「20 世紀」の社会構造が、今日も社会理論を制約していることを指摘する。

「第 2 章 近代世界の転換と家族変動の論理—人口とジェンダー」では、2 回の出生率低下とジェンダーの変化（「主婦化」と「脱主婦化」）を近代家族の成立と変容のメルクマールとすることにより、異なる地域における家族変動を操作化して比較する方法を提案する。この方法により、韓国などアジア諸社会の「圧縮（された）近代」と日本の「半圧縮近代」も明確に区別できる。

「第 3 章 アジア近代におけるジェンダー構築の論理」では、アジアにおけるジェンダーの変化を適切に理解するため、父系的アジアと双系的アジアという伝統の多様性、にも拘わらず自己オリエンタリズムが作り出してしまう言説の類似性、圧縮／半圧縮近代や資本主義／社会主義近代などの近代化の多様な経路、そして政策決定という、異なる論理の複合的作用を見る理論的枠組みを提案する。

第Ⅱ部はケアレジームに関する8つの章を含む。まず「第4章 アジアの家族主義を再考する—ケアレジームの歴史と現在」にて、アジア9社会で書かれたケアに関する重要論文のレビューを行い、歴史的にも現代でも市場、コミュニティ、親族、国家など多様なセクターがアジアにおけるケアに関わってきたこと、すなわち家族によるケアがアジアの伝統だという通説は誤りであることを示す。

続く「第5章 アジアの共働き社会における子育てを支えるもの—中国・タイ・シンガポールの場合」、 「第6章 グローバル化する家族—台湾の外国人家事労働者と外国人妻」、 「第7章 現代アジアにおける主婦の誕生—グローバル化と近代家族」、 「第8章 ケアダイヤモンドと福祉レジーム—東アジア・東南アジア6社会の比較研究」は、2002年から2008年にかけて主に東アジアと東南アジアの6社会（韓国、中国、台湾、タイ、シンガポール、日本）の都市中間層を対象として実施したフィールド調査に基づく国際比較分析である。第8章の整理のように、子どものケアおよび高齢者のケアをめぐる社会的ネットワークには、親族、コミュニティ、家事・介護労働者、施設といったさまざまな種類のケアの与え手が含まれており、その組み合わせは社会によって大きく異なる。ここに福祉レジーム論の視点を導入し、結果を国家、市場、家族、コミュニティという4セクターの貢献度を示すケアダイヤモンド図式を用いて整理し直すと、「国家による脱家族化」と「市場による脱家族化」という方向の違いがアジアでも見出せる。

「市場による脱家族化」は多くの国では外国人労働者の雇用により実現される。また国際結婚もしばしば家族のケアニーズを満たすために行われる。第6章ではこうした「再生産（ケア）のグローバル化」の事例を台湾での調査に基づきながら紹介する。また第7章では、中国、シンガポール、タイという典型的なアジアの共働き社会においても「主婦化」の動きが一部に見られることを報告する。

「第9章 東アジアの持続不能社会—圧縮された近代の低出生率と家族主義」は、東アジアの極低出生率に焦点を当て、この地域では婚姻して子どもを産み育てるという婚姻制度と家族主義が揺るがないからこそ「リスク回避的個人化」、より明確に言えば「家族主義的個人化」が起きているというメカニズムを明らかにする。

「第10章 持続可能な社会のための理論と政策—ケアの家族化／脱家族化と国際人口移動」ではここまでの議論を総括し、「ポスト20世紀体制」の代表的なケアダイヤモンドとして、「市場による脱家族化」により市場セクターが肥大したアメリカ型、「国家による脱家族化」から国家の役割が削減される代わりに「費用補助型福祉国家」に変容して他のセクターとの混合が進んでいるヨーロッパ型を描き、アジアでは日本以外はアメリカ型に接近する傾向があることを指摘する。さらに「ケアサービスの脱家族化」と「ケア費用の脱家族化」を2つの軸として交差させ、4つの象限を「脱家族主義」「自由主義的家族主義」「家族主義」「支援された家族主義」とする世界的にも新しい分析枠組みを提案する。たとえば「市場による脱家族化」の傾向が強い「自由主義的家族主義」では、ケアサービスを購入できても費用は家族が負担せねばならないことが、アジアの低出生率の一つの原因と考えられる。

さらに第10章では人口学的比較分析を行い、人口の自然増加率が低下した1970年代以降の

欧米社会において、人口増加率維持のため国際人口移動が不可欠だったことを明らかにし、持続可能な社会的再生産体制を論じるには移民を視野に入れねばならないと主張する。

「第11章 アジア化するヨーロッパ?—フランス福祉国家の変容と子どものケア」では、フランスでのフィールド調査により、フランスの福祉国家は他のセクターと「混合」しながら、セクター間の調整と資金配分という肝要な役割を果たし続けていることを示し、ヨーロッパの福祉国家は「削減」されたのではなく「変容」したのだと論じる。

以上のような「ケアの脱家族化」のグローバルな見取り図の中に日本を位置づけたのが第Ⅲ部である。第Ⅲ部には4つの章を収める。「第12章 世界の中の戦後日本家族」では、20世紀の欧米・日本・アジアにおけるライフコースの変容の比較から「戦後日本家族」を論じ直す。「ポスト20世紀体制」への転換の道筋は欧米圏においては福祉レジームによりクラスター化している。アジア地域の分岐はまさに進行中だが、人口ボーナス期に親族ネットワークが最強の時代が出現することが家族政策の方向を誤らせるという本章の指摘は、日本のみならず他のアジア諸国にも当てはまる。

「第13章 歴代首相の国会発言に見る『家族』と『女性』—日本の停滞のイデオロギー的背景」は、人口ボーナスによる最強の親族ネットワークを失いつつあった1980年代の日本において、「自己オリエンタリズム」という文化地政学的なイデオロギーによって家族主義をかえって強めるような改革が行われたことが、その後の日本の停滞を招いたと論じる。しかも当時の中曽根康弘首相が日本の伝統として言及したのは実は近代的な性別分業であり、本章が「近代の伝統化」と名付けたようなメカニズムがはたらいていた。

「第14章 縮んだ戦後体制—『つまずきの石』としての1980年代」では、「20世紀体制」の転換にあたり「再生産（ケア）の脱家族化」を進める国々と対照的に、1980年代に「家族主義の再制度化」を選択した日本では、戦後体制的な制度に包摂される安定した雇用と家族をもつ人々と、そこから排除される不安定な雇用と家族を生きる人々とが分断される二重構造が作られ、「縮んだ戦後体制」とも呼ぶべき現状となったと指摘する。

最終章の「第15章 新型コロナが露呈させたジェンダー問題とケアの危機—生を包摂する社会科学とは」では、新型コロナウイルス・パンデミックによる「ケアの再家族化」が可視化したケア負担のジェンダーによる偏り、それによる女性の就業への深刻な影響等について、筆者自身が実施した調査や内閣府の研究会報告書に基づいて検討し、生を包摂する社会と社会科学を樹立する必要性をあらためて主張した。

「人が生きること」を含めて持続可能な社会を作るには、ケアの価値を評価し、そのための時間を保障し、対価を支払うことが必要である。そうしなければ適切な量の労働と時間をそのために配置することができない。「ケアの脱家族化」とは環境問題を経済に内部化するという解決に通じるものである。そのためには狭義の子育て支援等に留まらず、一般的な労働政策、福祉政策など広範囲の法・制度や慣行の見直しが求められる。